



## 6月19日(木) A会場(神戸国際会議場 1F メインホール)

8:30~9:30

### 教育講演 1

司会：谷向 知

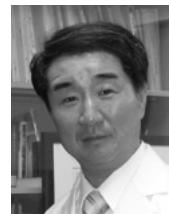
愛媛大学

EL1

#### アルツハイマー型認知症におけるBPSDを含めた薬物療法

○中村 祐

香川大学医学部附属病院精神神経医学講座



9:30~10:30

### 教育講演 2

司会：尾関 祐二

滋賀医科大学精神医学講座

EL2

#### 精神分裂病に惹かれ、8年越しの花嫁へ

○高木 学

岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学



10:45~11:45

### 教育講演 3

司会：竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部健康長寿代謝制御研究センター精神病態医学講座

EL3

#### うつ病治療の大転換期を迎えて

○岩田 正明

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野



11:45~12:45

### 教育講演 4

司会：石原 武士

川崎医科大学医学部臨床医学精神科学

EL4

#### 思春期の精神疾患の理解と対応

○村上 伸治

川崎医科大学精神科学教室



13:30～14:30 特別講演 1

司会：三村 將 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SL1

実臨床と研究の狭間で

○久住 一郎<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>医療法人奏和会苫小牧緑ヶ丘病院、<sup>2</sup>医療法人研成会札幌鈴木病院



14:30～15:30 先達に聴く 1

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

PM1

愛媛そして鹿児島で学び経験した精神医学・医療

○佐野 輝

鹿児島大学



15:45～17:45 会長企画シンポジウム 1  
ゆりかごから123歳まで

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座  
伊賀 淳一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

PS1-1

子どもの精神科臨床：子どもから大人への橋渡し

○堀内 史枝

愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座



PS1-2

青年期に発症する稀な単一遺伝子疾患を通して精神疾患を考える

○中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

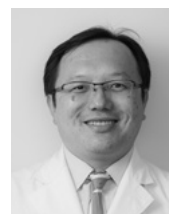


PS1-3

ライフステージとうつ病

○伊賀 淳一

愛媛大学大学院精神神経科学講座



PS1-4

65歳から123歳までの老年精神医学

○池田 学

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室





18:00～19:00 教育講演 5

司会：吉山 顕次 大阪大学大学院医学系研究科精神医学分野

EL5

認知症の行動・心理症状に対する包括的治療－非薬物療法を中心に－

○数井 裕光

高知大学医学部神経精神科学講座



19:00～20:00 教育講演 6

司会：岡田 剛 広島大学精神神経医科学

EL6

精神科医が知っておくべきサイコオンコロジーの知識

○倉田 明子

広島大学病院精神科/緩和ケアセンター



6月19日(木) B会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室)

8:30～10:30 シンポジウム 1  
せん妄の病態機序仮説update 2025

司会：八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院  
岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院

SY1-1 せん妄の病態機序における脳の老化

○岩田 正明

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

SY1-2 せん妄の神経炎症仮説

○門司 晃

慈光会若久病院

SY1-3 せん妄における酸化ストレスの役割とその制御

○大山 覚照<sup>1,4</sup>、早川 清雄<sup>2</sup>、坂井 敦<sup>3</sup>、古谷 直生<sup>1</sup>、内山 翔太郎<sup>4</sup>、谷向 仁<sup>5</sup>、高岡 晃教<sup>6</sup>、岸 泰宏<sup>4</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野東部医療センター、

<sup>2</sup>日本医科大学大学院医学研究科生化学・分子生物学(代謝・栄養学)分野、

<sup>3</sup>日本医科大学大学院医学研究科薬理学分野、<sup>4</sup>日本医科大学武蔵小杉病院、

<sup>5</sup>名古屋市立大学大学院看護学研究科精神保健看護学、<sup>6</sup>北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野

SY1-4 せん妄における睡眠・概日リズム

○吉池 卓也

国立精神・神経医療研究センター

SY1-5 せん妄のエピジェネティクス研究による病態解明とバイオマーカー開発

○篠崎 元

スタンフォード大学

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院  
〈サブコーディネーター〉 岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院

10:45~12:45 **会長企画シンポジウム 2**  
**がん患者の精神症状緩和:「気持ちのつらさガイドライン」と新たな介入研究**

司会: 内富 庸介 東京慈恵会医科大学がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座  
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

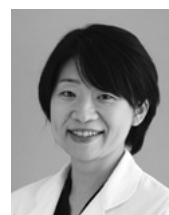
PS2-1 **がん患者の不安、抑うつに対する薬物療法-「気持ちのつらさのガイドライン」を読み解く**

○倉田 明子  
広島大学病院精神科/緩和ケアセンター



PS2-2 **がん患者の不安、抑うつに対する精神療法・心理社会的介入-「気持ちのつらさのガイドライン」を読み解く**

○阿部 晃子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学附属病院、<sup>2</sup>国立がん研究センター中央病院



PS2-3 **AYA世代がん患者の精神症状に対するスマートフォンアプリを用いた多施設ランダム化比較試験**

○原田 喜比古<sup>1</sup>、岡村 優子<sup>2</sup>、倉田 明子<sup>3</sup>、松原 敏郎<sup>4</sup>、木尾 祐子<sup>1</sup>、内富 庸介<sup>6</sup>、古川 壽亮<sup>5</sup>、明智 龍男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、  
<sup>2</sup>国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部、  
<sup>3</sup>広島大学病院精神科/緩和ケアセンター、<sup>4</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、  
<sup>5</sup>京都大学成長戦略本部、<sup>6</sup>東京慈恵会医科大学がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座



PS2-4 **進行がん患者の死の恐怖を取り扱う Managing Cancer and Living Meaningfully (CALM) 療法の日本への導入**

○松原 敏郎<sup>1</sup>、宮本 せら紀<sup>2,3</sup>、清水 研<sup>4</sup>、山崎 允宏<sup>2</sup>、厚坊 浩史<sup>4</sup>、大澤 雄気<sup>2</sup>、樋田 紫子<sup>2</sup>、山縣 裕史<sup>5,6</sup>、土田 陸平<sup>7</sup>、井上 玲央<sup>7</sup>、阿部 博昭<sup>7</sup>、住谷 昌彦<sup>7</sup>、中川 伸<sup>1</sup>、吉内 一浩<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院心療内科、  
<sup>3</sup>赤坂心療内科クリニック、<sup>4</sup>がん研有明病院腫瘍精神科、  
<sup>5</sup>山口大学大学院医学系研究科医学専攻麻酔・蘇生学講座、  
<sup>6</sup>山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター、  
<sup>7</sup>東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター/緩和ケア診療部



**〔指定発言者〕**

藤澤 大介  
慶應義塾大学医学部/国立がん研究センター

〈メインコーディネーター〉 倉田 明子 広島大学病院精神科/緩和ケアセンター  
〈サブコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野



13:30～15:30 シンポジウム 2

統合失調症と鑑別すべき疾患や状態の理解を通して統合失調症の「本質」を考える

司会：尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座  
高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

SY2-1 ARMS（精神病発症リスク状態）概念を通して考える統合失調症の本質

○樋口 悠子<sup>1,2</sup>、鈴木 道雄<sup>3,4</sup>、高橋 努<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、<sup>2</sup>富山大学アイドリング脳科学研究センター、<sup>3</sup>有沢橋病院、<sup>4</sup>糸魚川診療所

SY2-2 統合失調症と強迫症、あるいは強迫スペクトラムとの相互関連は本質なのか偶発なのか

○松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

SY2-3 物質関連障害と統合失調症～覚せい剤精神病を巡る考察を中心に～

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

SY2-4 代謝異常症と統合失調症

○林田 麻衣子

島根大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 尾関 祐二

滋賀医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 高木 学

岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

15:45～17:45 シンポジウム 3

周産期メンタルヘルスと小児期逆境体験

司会：渡邊 博幸 医療法人学術会木村病院  
菊地 紗耶 東北大学病院

SY3-1 小児期逆境体験（ACEs）と親子の絆形成の困難 —マトレセンスの概念からみた周産期メンタルヘルス—

○山下 洋

九州大学病院子どものこころの診療部

SY3-2 若年妊娠の背景と家族の支援

○上野 千穂

京都市児童福祉センター診療所

SY3-3 小児期逆境体験と予定外妊娠

○寺田 周平

東京科学大学大学院医歯学総合研究科公衆衛生学分野

SY3-4 逆境的小児期体験と神経生物学

○堀 弘明

国立精神・神経医療研究センター

SY3-5 逆境体験を有する妊産婦支援

○清野 仁美

兵庫医科大学精神科神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 竹内 崇 東京科学大学病院  
〈サブコーディネーター〉 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

18:00～20:00 **シンポジウム 4**  
あるがままやマインドフルネスへいかに導入するか～東洋と西洋の知を活かして～

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

SY4-1 **弁証法的行動療法における導入方法**

○小野 和哉  
聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

SY4-2 **がん・緩和医療におけるマインドフルネスの可能性**

○藤澤 大介<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立がん研究センター

SY4-3 **マインドフル・セルフ・コンパッションの概略と応用**

○岸本 早苗  
京都大学大学院医学研究科

SY4-4 **治療者はどのようにして外来森田療法へ導入するか**

○館野 歩  
東京慈恵会医科大学精神医学講座

**〔指定発言者〕**

黒木 俊秀  
中村学園大学教育学部

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

**6月19日(木) C会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)**

8:30～10:30 **シンポジウム 5**  
精神疾患の病態解明・個別化医療を目指して～当事者・家族・医療者・研究者の相互理解と連携  
における検討

司会：夏莉 郁子 やきつべの径診療所  
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

SY5-1 **「精神疾患の病態解明・個別化医療の実現」は当事者・家族の悲願です**

○夏莉 郁子  
やきつべの径診療所

SY5-2 **家族の立場からのご発言**

○谷岡 哲次  
認定NPO法人レット症候群支援機構



SY5-3

**当事者の立場からのご発言**

○窪田 信子

日本双極性障害団体連合会(ノーチラス会)

SY5-4

**研究における当事者と研究者の連携： 双極症研究ネットワークの経験から**

○加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座

SY5-5

**「精神疾患の克服と障害支援にむけた研究推進の提言」の作成 ―病態解明と個別化医療の実現を目指して―**

○中神 由香子

京都大学学生総合支援機構

**〔指定発言者〕**

尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

**〔指定発言者〕**

神庭 重信

飯田病院／日本うつ病センター／九州大学

〈メインコーディネーター〉 夏莉 郁子

やきつべの径診療所

〈サブコーディネーター〉 尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

10:45～12:45

**シンポジウム 6**

**近年の睡眠学の進歩と精神医学・医療での展開**

司会：鈴木 正泰

日本大学医学部精神医学系

栗山 健一

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY6-1

**新たな「睡眠の質」指標を精神疾患診療にどのように活かすか**

○金子 宜之<sup>1</sup>、吉池 卓也<sup>2</sup>、斎藤 かおり<sup>1</sup>、大概 怜<sup>1</sup>、木附 隼<sup>1</sup>、栗山 健一<sup>2</sup>、鈴木 正泰<sup>1</sup>

<sup>1</sup>日本大学医学部、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY6-2

**精神科診療における Sleep Tech の応用**

○内海 智博、吉池 卓也、栗山 健一

国立・精神神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

SY6-3

**神経発達症と睡眠障害～遺伝的リスクスコア解析を用いたコホート研究によって明らかになったこと～**

○高橋 長秀

国立精神神経医療研究センター

SY6-4

**加齢による睡眠変化と認知症との関連**

○藤城 弘樹、宮田 聖子、岩本 邦弘

名古屋大学大学院医学研究科精神医学

**〔指定発言者〕**

内村 直尚

久留米大学

〈メインコーディネーター〉 鈴木 正泰

日本大学医学部精神医学系

〈サブコーディネーター〉 栗山 健一

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:30～15:30 シンポジウム 7

臨床現場から学ぶ: オープン・ダイアログ、応用行動分析、動機づけ面接の実践と統合

司会: 原井 宏明 原井クリニック

SY7-1 個人クリニックでのオープンダイアログ的な対話実践について

○斎藤 環

つくばダイアログハウス

SY7-2 応用行動分析学は精神医学にとって「敵」なのか？

○奥田 健次

学校法人西軽井沢学園

SY7-3 動機づけ面接について

○原井 宏明<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>原井クリニック、<sup>2</sup>株原井コンサルティング&トレーニング、<sup>3</sup>ハワイ大学精神科

〈メインコーディネーター〉 原井 宏明 原井クリニック

15:45～17:45 シンポジウム 8

この10年間に不安症(不安障害)治療はどのように発展したのか～難治性とその対応を中心に～

司会: 松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学講座  
塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野

SY8-1 この10年間にパニック症治療はどのように発展したのか～難治性とその対応を中心に～

○塩入 俊樹

岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野

SY8-2 この10年間に社交不安症治療はどのように発展したのか？

○朝倉 聡

北海道大学保健センター

SY8-3 この10年間に全般不安症 (GAD) 治療はどのように発展したのか～難治性とその対応を中心に～

○大坪 天平

東京女子医科大学附属足立医療センター

SY8-4 この10年間のPTSD治療の発展

○金 吉晴

国立精神・神経医療研究センター

SY8-5 この10年間に強迫症 (OCD) の治療はどのように発展したのか～難治性とその対応を中心に～

○松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学講座



18:00～20:00

## シンポジウム 9

### 精神科領域におけるレジストリを活用した薬事承認の実現とその展望

司会：中込 和幸  
古郡 規雄

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
獨協医科大学

SY9-1

#### マイレジストリ（精神疾患レジストリ）の概要と薬事承認

○竹田 和良<sup>1</sup>、小居 秀紀<sup>1</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>、吉村 直記<sup>1</sup>、保谷 岳彦<sup>1</sup>、岩田 正明<sup>2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>3</sup>、  
久我 弘典<sup>1</sup>、中込 和幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター、<sup>2</sup>鳥取大学医学部精神行動医学分野、<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座

SY9-2

#### 精神疾患レジストリにおける「Regulatory grade」での信頼性担保の実現

○小居 秀紀

国立精神・神経医療研究センター情報管理・解析部

SY9-3

#### がん治療分野におけるレジストリを活用した薬事承認の経験

○坂東 英明

国立がん研究センター東病院

SY9-4

#### マイレジストリを活用した医療機器（けいれん療法用磁気刺激装置）の研究開発：医師主導治験と臨床評価準備

○鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

SY9-5

#### レジストリー登録数をどのように増やしていくのかーその苦労と工夫

○古郡 規雄

獨協医科大学

#### 〔指定発言者〕

芳賀 めぐみ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

#### 〔指定発言者〕

夏莉 郁子

やきつべの径診療所

〈メインコーディネーター〉 竹田 和良

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈サブコーディネーター〉 中込 和幸

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

## 6月19日(木) D会場(神戸国際会議場 4F 401会議室)

### 8:30~10:10 ワークショップ1 (児童精神科医療研修委員会) 児童精神医学の作法と学び方 -新たに児童精神医学を志す人のために(2)-

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座  
今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野

WS1 〈講演者〉 前林 尚絵 花ノ木医療福祉センター  
佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・精神神経科  
中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター  
小林 奈津子 東北大学病院精神科

〈メインコーディネーター〉 佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・精神神経科

### 10:45~12:45 シンポジウム10 森田療法は外来精神療法の効率化に寄与し得るか？—短期精神療法としての森田療法—

司会：北西 憲二 森田療法研究所・北西クリニック

#### SY10-1 アクセプトランス&コミットメントセラピーとの比較から短期精神療法としての外来森田療法を考察する

○館野 歩  
東京慈恵会医科大学精神医学講座

#### SY10-2 森田療法のタイムパフォーマンスとコストパフォーマンスが顕著に優れている理由

○田所 重紀  
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

#### SY10-3 短時間診療における森田療法の可能性について —症例を交えながら—

○樋之口 潤一郎  
潤クリニック

#### SY10-4 改訂スリー・ステップス・モデルについて

○若島 孔文  
東北大学大学院教育学研究科

#### 〔指定発言者〕

北西 憲二  
森田療法研究所・北西クリニック

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 田所 重紀 札幌医科大学神経精神医学講座



13:30～15:30 シンポジウム 11 (精神療法研修委員会)  
トラウマ/逆境体験の視点から精神療法を再考する

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
南澤 淳美 京都府立医科大学精神医学教室/精神療法個人開業

SY11-1 心的外傷/小児期逆境体験の精神療法的拝領と処理

○新宮 一成  
京都産業大学/奈良大学

SY11-2 響きあうトラウマがもたらす日常臨床における病像

○岡村 斉恵<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団柏水会初石病院、<sup>2</sup>精神療法個人開業

SY11-3 トラウマ/逆境体験を有する人にどのように認知行動療法を実践するのか

○菊地 俊暁  
慶應義塾大学医学部

SY11-4 複雑性PTSDを持つ患者の家族の理解と対応

○渡辺 俊之  
渡辺医院/高崎西口精神療法研修室

〔指定発言者〕

新村 秀人  
大正大学臨床心理学部

〈メインコーディネーター〉 南澤 淳美 京都府立医科大学精神医学教室/精神療法個人開業  
〈サブコーディネーター〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

15:45～17:45 シンポジウム 12  
精神分析的視点からパーソナルリカバリーを考える

司会：加茂 聡子 四谷こころのクリニック  
岩永 洋一 川谷医院

SY12-1 精神分析とパーソナルリカバリー その類似点と相違点からみえてくるもの

○中村 浩平  
こころホスピタル草津

SY12-2 自分をメンタライズすること、人生を生きなおすこと

○池田 暁史<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大正大学、<sup>2</sup>個人開業

SY12-3 パーソナルリカバリーを超えて：精神分析の視点

○藤山 直樹  
個人開業

〔指定発言者〕

熊倉 陽介  
東京大学医学部附属病院精神神経科

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学/個人開業  
〈サブコーディネーター〉 中村 浩平 医療法人社団更生会こころホスピタル草津

18:00～20:00 シンポジウム 13

新規治療はどのように生まれるか 基礎・臨床・テクノロジーの融合と発展

司会：井野 敬子 国立精神・神経医療研究センター  
坂口 昌徳 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／国立精神・神経医療研究センター

SY13-1 「忘れられない」けれど「思い出せない」恐怖記憶の矛盾する2つの現象を説明するメカニズム

○小泉 愛  
ソニーコンピュータサイエンス研究所

SY13-2 PTSD 患者の睡眠特性と睡眠時音刺激治療の実現可能性

○坂口 昌徳<sup>1,2</sup>、関場 遥<sup>1,2</sup>、廣幡 小百合<sup>3</sup>、堀 有伸<sup>4</sup>、須賀 楓介<sup>5</sup>、利重 裕子<sup>6</sup>、正木 みのり<sup>1</sup>、  
Pablo Vergara<sup>1</sup>、富永 杜絵<sup>7</sup>、柳沢 正史<sup>1,7</sup>、金 吉晴<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>医療法人仁愛会水海道厚生病院、  
<sup>4</sup>ほりメンタルクリニック、<sup>5</sup>舞多聞こころのクリニック、  
<sup>6</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、<sup>7</sup>(株)S'UIMIN

SY13-3 生成AIと立体音響技術に基づく治療用の音VR合成システム

○善甫 啓一  
筑波大学

SY13-4 PTSD 治療における音響バーチャルリアリティの応用可能性

○井野 敬子  
国立精神・神経医療研究センター  
  
〈メインコーディネーター〉 井野 敬子 国立精神・神経医療研究センター  
〈サブコーディネーター〉 坂口 昌徳 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／国立精神・神経医療研究センター

6月19日(木) E会場(神戸国際会議場 4F 402会議室)

8:30～10:30 シンポジウム 14

自閉スペクトラム症成人のコミュニケーション定量解析

司会：中村 元昭 昭和医科大学  
長井 志江 東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構

SY14-1 自閉スペクトラム症成人の診断と評価

○中村 元昭、直江 大河、井上 舞依子、武田 小百合、鹿内 友美、沖村 幸、太田 晴久  
昭和医科大学

SY14-2 Quantitative Analysis of Multimodal Communication Patterns in Adults with Autism Spectrum Disorder (ASD)

○Von Ralph Dane M. Herbuella<sup>1</sup>、Taiga Naoe<sup>2</sup>、Yumi Shikauchi<sup>2</sup>、Motoaki Nakamura<sup>2</sup>、  
Yukie Nagai<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>International Research Center for Neurointelligence (IRCIN), The University of Tokyo、  
<sup>2</sup>Medical Institute of Developmental Disabilities Research, Showa Medical University

SY14-3 言語・音声データから見えてくるコミュニケーション様式 ～言語科学の立場から～

○保前 文高、パク ウンビ、粕谷 美里  
東京都立大学人文社会学部



SY14-4

### 大規模言語モデルを用いた定量的会話特徴の探索

○張山 昌論<sup>1</sup>、中村 有紗<sup>1</sup>、中村 元昭<sup>2</sup>、鹿内 友美<sup>2</sup>、直江 大河<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北大学大学院情報科学研究科、<sup>2</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所

#### 〔指定発言者〕

黒田 美保

田園調布学園大学

#### 〔指定発言者〕

内山 登紀夫

福島学院大学

〈メインコーディネーター〉 中村 元昭

昭和医科大学

〈サブコーディネーター〉 長井 志江

東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構

10:45～12:45

## シンポジウム 15

### 身体醜形症について精神科医が知るべきこと

司会：原井 宏明 原井クリニック

SY15-1

### 身体醜形症（BDD）の発症から治療に至る過程と3DI（3日間集団集中治療）の効果

○宮下 陽介

医療系公益法人

SY15-2

### 身体醜形症 メンタルクリニックの立場から

○原井 宏明<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>原井クリニック、<sup>2</sup>株原井コンサルティング&トレーニング、<sup>3</sup>ハワイ大学精神科

SY15-3

### 身体醜形症～美容外科医の立場から考える～

○原岡 剛一

神戸大学大学院医学研究科形成外科学

SY15-4

### 身体醜形症：その基本的な理解

○松崎 朝樹

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

SY15-5

### 身体醜形症（BDD）患者の受療行動に関する現状と課題

○松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 原井 宏明 原井クリニック

13:30～15:30

## シンポジウム 16（精神医学研究推進委員会）

### 精神医学における若手研究者の人材育成：課題と展望

司会：加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学教室

倉持 泉

埼玉医科大学総合医療センター／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY16-1

### MD-PhDコース（臨床前PhD取得プログラム）による人材育成の課題と戦略

○塩飽 裕紀

東京科学大学精神行動医科学分野

SY16-2 臨床・研究・教育の鼎立における課題と展望：専門医取得後の大学院進学者の視点から

○田宗 秀隆  
順天堂大学医学部精神医学講座

SY16-3 若手精神科医主導の研究支援活動の総括と活動から見える課題感

○安藝 森央<sup>1,2</sup>、入来 晃久<sup>2</sup>、宮野 史也<sup>2</sup>、香田 将英<sup>2</sup>、山口 博行<sup>2</sup>、山口 泰也<sup>2</sup>、川竹 絢子<sup>2</sup>、  
出利葉 健太<sup>2</sup>、新福 伸久<sup>2</sup>、清水 俊宏<sup>2</sup>、飯島 由佳<sup>2</sup>、倉持 泉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室(精神医学)、<sup>2</sup>認定NPO法人日本若手精神科医の会

SY16-4 指導者の立場から見た若手育成の現状と改善点

○村井 俊哉  
京都大学大学院医学研究科・精神医学

〔指定発言者〕

尾崎 紀夫  
名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

〔指定発言者〕

大町 佳永  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 倉持 泉 埼玉医科大学総合医療センター／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
〈サブコーディネーター〉 加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学教室

15:45～17:45 シンポジウム 17

身体症状症および関連症群としての機能性神経症状症(変換症)－身体症状症との関連から治療を考える－

司会：富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学系研究科  
名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

SY17-1 身体医が行う、身体症状症と機能性神経症状症の診療

○上田 剛士  
洛和会丸太町病院救急・総合診療科

SY17-2 変換症/機能性神経症状症 (Functional Neurological Symptom Disorder : FND) の精神療法の工夫

○富永 敏行  
京都府立医科大学大学院医学系研究科

SY17-3 機能性神経症状症(変換症)の薬物療法

○名越 泰秀  
京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

SY17-4 PNES(心因性非てんかん発作)の治療を精神科医が引き受ける際に役立つかもしれないいくつかのポイント

○谷口 豪、中田 千尋、加藤 英生、大竹 眞央、梅田 真洋、斉藤 聡志、藤 雄一朗  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

〈メインコーディネーター〉 富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学系研究科  
〈サブコーディネーター〉 名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科(心療内科)



18:00～20:00 シンポジウム 18

口腔領域の難治性疼痛に対し精神科医は何をすべきか？—精神療法と薬物療法を中心に

司会：宮岡 等 北里大学  
宮地 英雄 ころのホスピタル町田

SY18-1 歯科医師との連携：歯科医師に何をどう伝えるか

○宮地 英雄  
ころのホスピタル町田

SY18-2 口腔領域の難治性疼痛治療の現状と精神科との連携を考える ～歯科医師の立場から～

○村岡 渡  
川崎市立井田病院歯科口腔外科

SY18-3 口腔領域の難治性疼痛に対する精神療法の重要性 —舌痛症を中心に—

○吉野 敦雄<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>広島大学保健管理センター、<sup>2</sup>広島大学脳・ころ・感性科学研究センター

SY18-4 口腔領域の難治性疼痛に対する精神科薬物療法—身体症状症の治療を中心に

○名越 泰秀  
京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

〈メインコーディネーター〉 宮地 英雄 ころのホスピタル町田  
〈サブコーディネーター〉 宮岡 等 北里大学  
名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

## 6月19日(木) F会場(神戸国際会議場 4F 403会議室)

8:30～10:30 シンポジウム 19

精神病理学と生物学を架橋する計算論的精神医学：予測情報処理理論の可能性

司会：前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY19-1 Sense of Agency研究：生物学との架橋をめざす実験精神病理学

○前田 貴記  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY19-2 精神障害の機構論としての予測情報処理：計算論的精神医学の現在地と展望

○山下 祐一  
国立精神・神経医療研究センター

SY19-3 内受容感覚の予測制御機能と感情認識および制御困難

○寺澤 悠理  
慶應義塾大学文学部

SY19-4 集成的予測符号化に基づく心と言語のミクロ・マクロ・ループ

○谷口 忠大  
京都大学大学院情報学研究科

〈メインコーディネーター〉 前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
〈サブコーディネーター〉 山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

## 10:45～12:45 シンポジウム 20

### 抗精神病薬併用の先:単剤にできるか?いつ・どう減らす?

司会: 杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院  
八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院

#### SY20-1 当院における抗精神病薬の減量、単剤化の検証と可能性について

○藤田 潔  
桶狭間病院藤田こころケアセンター

#### SY20-2 精神科救急医療ガイドライン2022と自施設データに基づく抗精神病薬併用療法の新たな展望

○森川 文淑、直江 寿一郎  
医療法人社団圭泉会旭川圭泉会病院

#### SY20-3 維持治療として行われている抗精神病薬多剤併用は続けるべきか?止めるべきか?

○三澤 史斉  
山梨県立北病院

#### SY20-4 抗精神病薬2剤併用のその先は?

○嶽北 佳輝  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

#### SY20-5 抗精神病薬の多剤併用治療～減剤・減薬を見据えて～

○竹内 啓善  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院  
〈サブコーディネーター〉 杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院

## 13:30～15:30 シンポジウム 21

### 総合病院としての大学病院の機能を改めて考える

司会: 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座  
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

#### SY21-1 児童病床設立を通じた、全県を巻き込んだ医療・教育体制の構築

○岩田 正明  
鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

#### SY21-2 獨協医科大学精神神経科の取り組み:自殺対策と摂食障害

○古郡 規雄、佐々木 太郎、佐藤 由英、川俣 安史、菅原 典夫  
獨協医科大学

#### SY21-3 東海大学医学部精神科学の独自性と課題:精神病棟を有さない大学病院における臨床、教育、研究

○大西 雄一、高橋 有記、三上 克央、山本 賢司  
東海大学医学部総合診療学系精神科学

#### SY21-4 大学病院のリエゾンチームが担う医学教育、意思決定支援、臨床倫理

○赤穂 理絵、西村 勝治  
東京女子医科大学

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野  
〈サブコーディネーター〉 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座



15:45～17:45 シンポジウム 22

ヒューマノイドロボット技術を活用した精神科治療の最前線：小児から高齢者までの実践と課題

司会：村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
松本 吉央 東京理科大学先進工学部機能デザイン工学科

SY22-1 児童精神医学においてヒューマノイドロボットが果たすべき役割

○熊崎 博一  
長崎大学医学部精神神経科学教室

SY22-2 複数名と対話継続可能な音声認識システム搭載ロボットの開発

○河原 達也  
京都大学

SY22-3 抑うつ評価に関するロボット面接研究から考える先生転移・先生逆転移：転移から解放される未来の精神医療

○加藤 隆弘  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY22-4 個性の異なる複数ロボットを用いた自己開示促進

○吉川 雄一郎  
大阪大学

SY22-5 21世紀メンタル問題の解決に向けて：ロボットの果たす役割と問題点

○宮尾 益知  
どんぐり発達クリニック

〔指定発言者〕

上出 寛子  
京都大学大学院法学研究科

〔指定発言者〕

寺田 和憲  
岐阜大学大学院工学研究科

〔指定発言者〕

三村 將  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室  
〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野  
吉川 雄一郎 大阪大学大学院基礎工学研究科

18:00～20:00 シンポジウム 23

総合病院精神科での初期臨床研修・精神科専門医研修を再考する

司会：田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科／合併精神センター、国立研究開発法人国立精神・  
神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
中神 由香子 京都大学学生総合支援機構

SY23-1 総合病院精神科での初期臨床研修の現状と課題

○錫谷 研  
福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

SY23-2 若手精神科医が総合病院勤務で得られること

○大矢 希  
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

SY23-3 総合病院精神科の教育的価値 ―一般医療と精神医療の交差点として―

○松坂 雄亮<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>長崎県精神医療センター、<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学

SY23-4 チーム医療で精神科医と協働する公認心理師の立場から ～psychologicalな問題をどう共有していくか～

○厚坊 浩史  
がん研有明病院

〔指定発言者〕

中尾 智博  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

〈メインコーディネーター〉 田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〈サブコーディネーター〉 中神 由香子 京都大学学生総合支援機構

6月19日(木) G会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

10:00～12:40 ワークショップ2 (自殺予防に関する委員会)  
複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ【事前申込制】

司会：河西 千秋 札幌医科大学神経精神医学講座  
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

WS2 〈講演者〉 張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター

〈メインコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学神経精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

13:30～15:10 ワークショップ3  
＜脳波の基礎コース＞ 精神科医が脳波を学ぶ

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学  
矢部 博興 福島県立医科大学こころと脳の医学講座

WS3 〈講演者〉 山内 俊雄 埼玉医科大学  
矢部 博興 福島県立医科大学こころと脳の医学講座  
原 恵子 横浜こころと脳波・てんかんのクリニック/東京科学大学  
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科  
高木 俊輔 東京科学大学

〈メインコーディネーター〉 原 恵子 横浜こころと脳波・てんかんのクリニック/東京科学大学  
〈サブコーディネーター〉 高木 俊輔 東京科学大学



15:45～17:25 **ワークショップ 4**  
＜脳波の応用コース＞ 精神科医が脳波を活かす

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学  
矢部 博興 福島県立医科大学こころと脳の医学講座

WS4 〈講演者〉 原 恵子 東京科学大学／横浜こころと脳波・てんかんのクリニック  
渡邊 さつき 埼玉医科大学  
高木 俊輔 東京科学大学  
中村 啓信 東京科学大学

〈メインコーディネーター〉 高木 俊輔 東京科学大学  
〈サブコーディネーター〉 原 恵子 東京科学大学／横浜こころと脳波・てんかんのクリニック

18:00～20:00 **シンポジウム 24 (多職種協働委員会)**  
精神障害のある方の身体的な健康に対する多職種の関わり～健康寿命を延ばすために精神科  
医師が知るべきこと～

司会：山下 真 石川県立こころの病院  
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部付属病院

SY24-1 **健康的な日常生活を送るための多職種連携の中での管理栄養士の役割**

○和田 明子  
医療法人寿鶴会菅野病院

SY24-2 **急性期病院における身体合併症を持つ精神疾患患者への取り組み**

○田上 浩子、田中 淳一、宮崎 俊明、筒井 由佳  
社会医療法人近森会近森病院

SY24-3 **精神科入院患者における摂食嚥下障害の実態とリハビリテーションの課題**

○経田 香織  
金沢医科大学病院

SY24-4 **精神障がいのある方の身体的健康を支えるための訪問看護師の役割**

○飯塚 あつ子  
医療法人財団厚生協会訪問看護ステーション保木間

SY24-5 **精神科デイケアにおける身体的健康への作業療法士の取り組み**

○鈴木 将武  
社会医療法人あさかホスピタル

**〔指定発言者〕**

宇田川 健  
(NPO)COMHBO 地域精神保健福祉機構

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 後藤 雅博 こころのクリニックウィズ

## 6月19日(木) H会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

8:30～10:30

### シンポジウム 25

レジリエンスアプローチによる依存症治療～「止めさせる」治療からの脱却

司会：田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院  
松井 佑樹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY25-1

やめさせない思春期ゲーム行動症治療～リアル世界の生きやすさが子どものレジリエンスを引き出す～

○青山 久美  
神奈川県立精神医療センター

SY25-2

専門医療機関でなくてもできる依存症治療

○濱本 妙子  
医療法人サヂカム会三国丘病院

SY25-3

本来持つレジリエンスを取り戻す「人を大切にする」依存症診療

○入来 晃久  
大阪精神医療センター

SY25-4

「自傷を止めさせる」を越えて～人と関わり生きる目的を再発見するために～

○川合 優子、大坪 建、上阪 美穂子、山下 葉子、山田 亜夢未、柿原 阿希、益田 和利、三好 紀子  
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

SY25-5

依存症者が「モノ」でなく「人」を信じてストレスに対処する難しさ、そして変化の可能性―調査研究を通して

○板橋 登子  
神奈川県立精神医療センター

〔指定発言者〕

松口 和憲  
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

〔指定発言者〕

湯本 洋介  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

〈メインコーディネーター〉 佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

〈サブコーディネーター〉 田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院

入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター



10:45～12:45 シンポジウム 26

精神疾患を抱える患者の子育てをどう支援するか：ヤングケアラー家庭に対する精神科主治  
医の役割

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

SY26-1 精神疾患を有する親と子ども・家族への支援：精神科訪問看護における Let's Talk about  
Children

○上野 里絵  
共立女子大学看護学部

SY26-2 Let's Talk about Children when parents have mental health problems

○Tytti Solantaus  
Finnish Institute for Health and Welfare

SY26-3 精神疾患を抱える親の子育て支援－主治医が果たす役割と支援ツールの活用－

○小野 美樹  
東京医科大学精神医学分野

SY26-4 精神疾患のある親をもつ子どもへの支援の必要性和ヤングケアラーコーディネーターの役割

○小林 鮎奈<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>精神疾患の親をもつ子どもの会こどもびあ、<sup>2</sup>一般社団法人ヤングケアラー協会

〔指定発言者〕

北野 陽子  
NPO 法人ぶるすあるは

〈メインコーディネーター〉 小野 美樹 東京医科大学精神医学分野  
〈サブコーディネーター〉 岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

13:30～15:30 シンポジウム 27

精神療法の対話－精神分析、認知行動療法、森田療法、精神病理学、芸術療法の治療的根拠と  
目指すところ

司会：池田 暁史 大正大学／個人開業  
富澤 治 とみさわクリニック

SY27-1 無意識を想定するとはどういうことか——七転び八起きの精神分析——

○池田 暁史<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大正大学、<sup>2</sup>個人開業

SY27-2 精神科医療のなかでの認知行動療法

○中川 敦夫  
聖マリアンナ医科大学

SY27-3 森田療法の回復の目指すもの－他の精神療法との対話の基盤として－

○塩路 理恵子  
東京都立大学健康福祉学部

SY27-4 芸術療法の訴求性と陥穽（かんせい）

○富澤 治<sup>1</sup>、山下 晃弘<sup>2</sup>、横山 恭子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>とみさわクリニック、<sup>2</sup>医療法人社団緑会佐藤病院、<sup>3</sup>上智大学

SY27-5

## 臨床精神病理学と精神療法－現象学的無先入観、了解、心の共鳴

○古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学神経精神科学

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史

大正大学／個人開業

〈サブコーディネーター〉 富澤 治

とみさわクリニック

15:45～17:45

## シンポジウム 28

### 続・精神科領域における身体合併症を再考する

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室  
寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

SY28-1

## リチウムの可能性を最大限に生かすための工夫

○寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

SY28-2

## 気分症における肥満・耐糖能異常について

○菅原 典夫

獨協医科大学精神神経医学講座

SY28-3

## 向精神薬による心電図QT延長の管理

○鈴木 雄太郎

医療法人敬愛会末広橋病院

SY28-4

## 気分症における錐体外路症状を考察する

○坪井 貴嗣

杏林大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 坪井 貴嗣

杏林大学医学部精神神経科学教室

18:00～19:40

## ワークショップ 5 (医療 DX に関する委員会)

### ーから始めるオンライン診療

司会：岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

WS5

〈講演者〉

高橋 一志

東京女子医科大学附属八千代医療センター

黒木 春郎

医療法人嗣業の会こどもとおとなのクリニックパウルーム

木村 大

医療法人学而会木村病院

山田 悠平

全国「精神病」者集団

木下 翔太郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座／  
東京大学大学院学際情報学府

〈メインコーディネーター〉 岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

〈サブコーディネーター〉 木下 翔太郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座／  
東京大学大学院学際情報学府



## 6月19日(木) I会場(神戸国際会議場 5F 504会議室)

### 10:45~11:45 一般演題(口演) 1 気分障害(研究)

司会：忽滑谷 和孝 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科

#### 1-OS1-1 ケタミンによる治療抵抗性うつ病患者のAMPA受容体の分布変化：[11C]K-2を用いたPET研究

○中島 和希<sup>1</sup>、波多野 真依<sup>1</sup>、大谷 洋平<sup>2</sup>、谷 英明<sup>2</sup>、長井 信弘<sup>2</sup>、小泉 輝樹<sup>2</sup>、野本 希衣<sup>2</sup>、  
菊地 悠平<sup>2</sup>、彌富 泰佑<sup>2</sup>、米澤 賢吾<sup>2</sup>、楠戸 恵介<sup>2</sup>、富山 蒼太<sup>2</sup>、本多 栞<sup>2</sup>、中島 振一郎<sup>2</sup>、  
野田 賀大<sup>2,3</sup>、永露 毅<sup>1,4</sup>、有澤 哲<sup>5</sup>、高田 由貴<sup>1</sup>、宮崎 智之<sup>1,6</sup>、内田 裕之<sup>2</sup>、高橋 琢哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学医学部生理学、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>3</sup>国際医療大学三田病院精神科、

<sup>4</sup>横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室、<sup>5</sup>横浜市立大学医学部RI研究センター、

<sup>6</sup>横浜市立大学研究・産学連携推進センター

#### 1-OS1-2 心電図と3軸加速度の7日間連続測定による機械学習を用いた抑うつ症状のスクリーニング

○堀込 俊郎<sup>1</sup>、岸本 泰士郎<sup>1</sup>、藤岡 昌泰<sup>2</sup>、小林 伸敏<sup>2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座、<sup>2</sup>JSR株式会社イノベーション推進部

#### 1-OS1-3 Nepean Belief Scaleを用いた気分障害における自己否定的信念の調査

○石垣 琢磨<sup>1</sup>、南浦 由佳<sup>2</sup>、筒井 さやか<sup>2</sup>、芳賀 大輔<sup>2</sup>、池田 晶代<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院総合文化研究科、<sup>2</sup>就労移行支援事業所ワンモア、<sup>3</sup>医療法人和同会吉南病院

#### 1-OS1-4 難治性うつ病(DTD)のリスク因子に関する後方視コホート研究

○中村 倫之、増本 政也、瀧井 稔、千葉 比呂美、小曾根 基裕

久留米大学病院

#### 1-OS1-5 コロナ禍自粛生活下での社会リズム(規則正しい生活)と抑うつ状態の関連性：全国前向き縦断コホート研究

○宗 未来<sup>1</sup>、関沢 洋一<sup>2</sup>、橋本 空<sup>3</sup>、山陰 一<sup>4</sup>、越智 小枝<sup>5</sup>

<sup>1</sup>東京歯科大学市川総合病院、<sup>2</sup>独立行政法人経済産業研究所、<sup>3</sup>ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社、

<sup>4</sup>株式会社サティスタ、<sup>5</sup>東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座

### 11:45~12:45 一般演題(口演) 2 気分障害(症例)

司会：鷲塚 伸介 信州大学医学部精神医学教室

#### 1-OS2-1 線条体ドパミントランスポーターの異常を伴う重症うつ病にドパミンアゴニストが有効だった二例

○塩津 大地、田代 凌大、塩川 奈理、新井 薫、崎元 仁志、浦田 結嘉、佐々木 なつき、  
中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

#### 1-OS2-2 ブレクスピプラゾールによる増強療法で躁転したうつ病エピソードの1例

○阿部 健太、小高 文聰、石井 一裕、館野 歩、鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

#### 1-OS2-3 うつ病の治療中に亜昏迷状態を呈した後、幻聴が出現しカタトニアに移行した中年女性の1例

○嶋岡 修平、中島 公博

五稜会病院

- 1-OS2-4 薬剤性肝炎発症のため向精神薬をすべて中止した重症うつ病に対してマインドフルネスが奏功した一例  
○白浜 正直<sup>1</sup>、小城 智美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大分県立病院精神医療センター、<sup>2</sup>一燈園訪問看護ステーション

- 1-OS2-5 \*食物を含む広汎な対象への妄想性誤認により拒食を呈した精神病性うつ病の一例  
○南学 正仁、長尾 賢太郎、五十嵐 俊、久保田 智香、野田 隆政  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:30~14:30 一般演題（口演）3  
統合失調症（研究）

司会：内田 裕之 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

- 1-OS3-1 ガイドライン一致率が高い統合失調症患者の処方特性  
○森 啓輔<sup>1,2,5</sup>、松本 純弥<sup>1</sup>、長谷川 尚美<sup>1</sup>、小高 文聰<sup>1,2,5</sup>、稲田 健<sup>3</sup>、伊藤 颯姫<sup>1</sup>、堀 輝<sup>4</sup>、樋口 英二郎<sup>5</sup>、古郡 規雄<sup>6</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>3</sup>北里大学医学部精神科学教室、<sup>4</sup>福岡大学医学部精神医学教室、<sup>5</sup>公益財団法人復光会総武病院、<sup>6</sup>獨協医科大学精神神経医学講座
- 1-OS3-2 脳画像と認知機能による客観的な精神疾患診断を確立するための前向きコホート研究  
○松本 純弥<sup>1</sup>、石丸 直樹<sup>1</sup>、原田 健一郎<sup>2</sup>、松原 敏郎<sup>2</sup>、高橋 努<sup>1,3</sup>、肥田 道彦<sup>1,4</sup>、吉野 祐太<sup>5</sup>、村岡 寛之<sup>1,6</sup>、柳 雅也<sup>1,7</sup>、橋本 直樹<sup>1,8</sup>、杉原 玄一<sup>1,9</sup>、岡田 直大<sup>1,10</sup>、伊藤 颯姫<sup>1</sup>、長谷川 尚美<sup>1</sup>、高野 晴成<sup>1</sup>、菱本 明豊<sup>1</sup>、根本 清貴<sup>1</sup>、福永 雅喜<sup>1</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、<sup>3</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、<sup>4</sup>日本医科大学多摩永山病院精神神経科、<sup>5</sup>愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、<sup>6</sup>北里大学医学部精神科学、<sup>7</sup>近畿大学医学部精神神経科学教室、<sup>8</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>9</sup>東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野、<sup>10</sup>東京大学医学部附属病院精神神経科
- 1-OS3-3 発症早期統合失調症患者への治療介入実態に関する精神科医師大規模アンケート調査  
○中村 洋<sup>1</sup>、坂井 伸明<sup>1</sup>、鎌田 卓弥<sup>2</sup>、田形 弘実<sup>3</sup>、根本 隆洋<sup>3,4</sup>  
<sup>1</sup>住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、<sup>2</sup>住友ファーマ株式会社薬事部、<sup>3</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>4</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座
- 1-OS3-4 統合失調症患者の就労に関わる因子：障害者福祉サービスの利用も含めて  
○小山 玄紀<sup>1,2</sup>、中野 雅規<sup>1,2</sup>、松尾 悠史<sup>1,2,3</sup>、清水 裕介<sup>1,4</sup>、荻野 聡之<sup>1,4</sup>、高田 武人<sup>1</sup>、内田 裕之<sup>2</sup>、船山 道隆<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部救急医学教室、<sup>4</sup>杏林大学医学部救急医学教室
- 1-OS3-5 統合失調症入院患者の退院後治療中断に関する要因の探索的調査  
○斉藤 善貴<sup>1</sup>、村岡 寛之<sup>1</sup>、横山 貴之<sup>1</sup>、清水 雄一郎<sup>1</sup>、丹野 行博<sup>1</sup>、黄田 和<sup>1</sup>、西川 大曜<sup>1,2</sup>、三宅 慎<sup>1</sup>、釵持 幸男<sup>1</sup>、上村 幸正<sup>1</sup>、加藤 博仁<sup>1</sup>、高木 裕昭<sup>1</sup>、野口 友香<sup>1</sup>、土田 聖太<sup>1</sup>、鈴木 龍太郎<sup>1,2,4</sup>、吉村 有希<sup>1</sup>、三浦 祥子<sup>3</sup>、神谷 俊介<sup>1</sup>、廣岡 孝陽<sup>1</sup>、澤山 恵波<sup>1</sup>、大石 智<sup>1</sup>、稲田 健<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北里大学医学部精神科学教室、<sup>2</sup>北里大学大学院医療系研究科、<sup>3</sup>北里大学健康管理センター、<sup>4</sup>北里大学医学部地域児童精神科医療学



14:30～15:30 一般演題（口演）4  
統合失調症（症例）

司会：小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座

1-OS4-1 思考の自己所属感を主とする自我障害の改善にルラシドン少量投与が有効であった統合失調症患者の2例

○吉川 茜、垣内 千尋、加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座／大学院医学系研究科精神・行動科学

1-OS4-2 ＊当院におけるクロザピン導入プロトコルが示唆する低用量治療の可能性

○榛葉 裕二郎<sup>1</sup>、花岡 晋平<sup>1,2</sup>、高山 智宏<sup>1</sup>、山田 英利<sup>1</sup>、高橋 由美子<sup>1</sup>、劉 昱寛<sup>1</sup>、山中 浩嗣<sup>1</sup>、阿部 貴之<sup>1</sup>、深見 悟郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>千葉県総合救急災害医療センター、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会医学講座

1-OS4-3 ＊クロザピンによる統合失調症患者の客観的睡眠変数改善に関するケースシリーズ報告

○中静 英理加<sup>1</sup>、荒井 勇輔<sup>1,2</sup>、田中 章<sup>1</sup>、倉石 和明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>栗田病院、<sup>2</sup>信州大学医学部附属病院精神科

1-OS4-4 クロザピン長期投与後にオランザピン単剤化に成功した症例

○一條 慧<sup>1</sup>、渡辺 岳海<sup>1</sup>、長瀬 幸弘<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>高月病院、<sup>2</sup>日本大学医学部精神医学系精神医学分野

1-OS4-5 カタトニアの4症例-様々な原因疾患と背景について

○青木 弘枝、重家 里映、奥村 正紀

東京都立豊島病院

15:45～16:45 初期研修医・学部学生演題（口演）1

司会：山田 直輝 徳島大学病院精神科神経科

1-SS1-1 抗精神病薬による抗うつ薬の増強療法はミトコンドリア遺伝子発現を変化させ作用する！

○近藤 航平、吉野 祐太、久門 啓志、上野 修一

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-SS1-2 自閉症スペクトラム障害患者の血漿中・神経由来エクソソームのmicroRNA-20a-5p変化

○草浦 裕基、吉野 祐太

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-SS1-3 PSS-3日本語版の開発：抑うつ気分と自殺ハイリスクは入院期間長期化と関連する

○桐生 奏<sup>1,2</sup>、田宗 秀隆<sup>1,2</sup>、高橋 啓太郎<sup>1,2</sup>、鈴木 太<sup>3</sup>、竹下 佳秀<sup>1,4</sup>、勝田 成昌<sup>1,5</sup>、垣内 千尋<sup>1,2</sup>、伊藤 賢伸<sup>1,2</sup>、南谷 和沙<sup>6</sup>、平 大樹<sup>1,2</sup>、高岡 吉栄<sup>1,7</sup>、古敷谷 晃子<sup>1,2</sup>、櫻井 哲哉<sup>1,2</sup>、種村 友理恵<sup>1,2</sup>、原田 寛之<sup>1,2</sup>、浅井 竜朗<sup>1,2</sup>、小畑 洋平<sup>1,2</sup>、吉川 茜<sup>1,2</sup>、多田 真理子<sup>1,2</sup>、島田 隆史<sup>1,2</sup>、宮上 泰樹<sup>6</sup>、後藤 景子<sup>6,8</sup>、山本 宗孝<sup>6</sup>、高木 辰哉<sup>6</sup>、手塚 さつき<sup>7</sup>、柳澤 尚武<sup>9</sup>、西崎 祐史<sup>4</sup>、加藤 忠史<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>順天堂医院メンタルクリニック、<sup>2</sup>順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学、

<sup>3</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター、<sup>4</sup>順天堂大学医学部医学教育研究室、

<sup>5</sup>順天堂大学健康安全推進センター、<sup>6</sup>順天堂医院医療安全機能管理室、<sup>7</sup>順天堂医院看護部、

<sup>8</sup>順天堂大学大学院医学研究科臨床遺伝学、<sup>9</sup>順天堂大学革新的医療技術開発研究センター

1-SS1-4 演題取り下げ

1-SS1-5

## 小児の双極症の躁病エピソードに対する気分安定薬と抗精神病薬の治療経過の比較

○可見 涼真<sup>1</sup>、小松 英樹<sup>2</sup>、安田 英彰<sup>3</sup>、羽賀 龍<sup>4</sup>、中島 振一郎<sup>4</sup>、竹内 啓善<sup>4</sup>

<sup>1</sup>亀田総合病院卒後研修センター、<sup>2</sup>亀田総合病院精神科、<sup>3</sup>石東病院精神科、

<sup>4</sup>京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科、<sup>5</sup>慶應義塾大学精神・神経科学教室

16:45～17:45 初期研修医・学部学生演題（口演）2

司会：中瀧 理仁 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学教室

1-SS2-1

## COVID-19罹患後症状を有する患者における広範な脳領域での平均拡散能の低下：TBSSを用いた検討

○平下 智哉<sup>1</sup>、根本 清貴<sup>2</sup>、高橋 晶<sup>3,4</sup>、本多 皓一<sup>5</sup>、黒下 彰喜<sup>6</sup>、中橋 優太<sup>7</sup>、中山 顕次郎<sup>7</sup>、田口 高也<sup>4</sup>、堀 孝文<sup>4</sup>、太刀川 弘和<sup>3,4</sup>、新井 哲明<sup>2</sup>

<sup>1</sup>筑波大学附属病院、<sup>2</sup>筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、<sup>3</sup>筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、

<sup>4</sup>茨城県立こころの医療センター、<sup>5</sup>医療社団法人有朋会栗田病院、<sup>6</sup>公益財団法人鹿島病院、

<sup>7</sup>筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群

1-SS2-2

## 匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）オープンデータに基づく精神科救急入院の臨床疫学

○西嶋 碧乃<sup>1</sup>、早川 達郎<sup>2</sup>、柳内 秀勝<sup>1</sup>、佐竹 直子<sup>2</sup>、吉村 健佑<sup>3</sup>、酒匂 赤人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、<sup>2</sup>国立国際医療研究センター国府台病院精神科、

<sup>3</sup>千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

1-SS2-3

## 匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）オープンデータに基づく精神・身体合併患者の治療実態

○酒井 陽平<sup>1</sup>、早川 達郎<sup>2</sup>、山田 昂平<sup>1</sup>、柳内 秀勝<sup>1</sup>、佐竹 直子<sup>2</sup>、吉村 健佑<sup>3</sup>、酒匂 赤人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、<sup>2</sup>国立国際医療研究センター国府台病院精神科、

<sup>3</sup>千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

1-SS2-4

## 精神科デイケアでの自律対話ロボットを活用した対話プログラムの実践報告

○佐藤 志帆<sup>1</sup>、冠地 信和<sup>1</sup>、岨野 太一<sup>1</sup>、越智 恵子<sup>2</sup>、井上 昂治<sup>2</sup>、河原 達也<sup>2</sup>、塚崎 稔<sup>3</sup>、吉川 雄一郎<sup>4</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>京都大学情報学研究科、<sup>3</sup>三和中央病院、<sup>4</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科

1-SS2-5

## ソーシャルバターの使用が自閉スペクトラム症者の社会的コミュニケーションに及ぼす影響

○好川 周作<sup>1</sup>、手島 由利恵<sup>1</sup>、吉川 雄一郎<sup>2</sup>、西川 菜月<sup>1</sup>、内海 章<sup>3</sup>、宮下 敬弘<sup>3</sup>、石黒 浩<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科、<sup>3</sup>国際電気通信基礎技術研究所

18:00～18:50 初期研修医・学部学生演題（口演）3

司会：長濱 道治 島根大学医学部精神医学講座

1-SS3-1

## 初期研修中に精神科と感染症内科の両科で多様な精神症状を呈した梅毒症例を経験して考察が深まった一例

○藤川 真莉子<sup>1</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>、田添 健裕<sup>2</sup>、大橋 愛子<sup>2</sup>、増田 真吾<sup>3,4</sup>、菊池 太郎<sup>3,4</sup>

<sup>1</sup>長崎大学病院医療教育開発センター、<sup>2</sup>長崎大学病院精神科神経科、<sup>3</sup>長崎大学病院感染症内科、

<sup>4</sup>長崎大学病院総合診療科

1-SS3-2

## 心肺停止、高動脈炎の既往を有する変換症に対し、FIMによるADL評価が治療に有用であった1例

○奥川 敬裕<sup>1</sup>、福田 周一<sup>2</sup>、古川 元春<sup>2</sup>、山内 春佳<sup>2</sup>、石塚 晶啓<sup>2</sup>、岡田 剛史<sup>2</sup>、須田 史朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学附属病院、<sup>2</sup>自治医科大学精神医学講座



1-SS3-3

モーズレイ神経性やせ症治療を元にした認知行動療法的アプローチで外来に移行できた重症神経性やせ症の一例

○長谷川 達郎<sup>1</sup>、冠地 信和<sup>2</sup>、谷保 康一<sup>2</sup>、岩永 健<sup>2</sup>、田山 達之<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>長崎県五島中央病院、<sup>2</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室

1-SS3-4

舞踏病様の不随意運動を呈した混乱状態がカタトニアと考えられた一例

○上野 桃、中尾 智博、牧 亨、松島 敏夫、小原 知之、加藤 隆弘

九州大学病院精神科神経科

## 6月19日(木) J会場(神戸国際会議場 5F 505会議室)

10:45~11:45

### 一般演題(口演) 5

#### 児童・思春期精神障害1

司会：山末 英典

浜松医科大学精神医学講座

1-OS5-1

一般精神科外来における児童思春期患者のベンゾジアゼピン受容体作動薬処方の実態調査

○小豆島 沙木子、小高 文聰、石井 洵平、酒井 祥行、森 啓輔、小林 珠代、鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-OS5-2

自閉スペクトラム症(ASD)児の子育てにおける母親の支援ニーズ：行動特性との関連性から

○棟近 孝之<sup>1</sup>、村上 友香理<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>医療法人和合会和合病院、<sup>2</sup>関西医科大学健康科学センター、<sup>3</sup>AKIDSラボ

1-OS5-3

自閉スペクトラム症児の保護者支援：就学前後のサポートブック作成を通じた障害受容と育児自己効力感の促進

○森 麻子、山口 雄大、花房 昌美

大阪精神医療センター

1-OS5-4

最近の養育相談からみた、児童精神科医療と関連する機関への提言

○中山 浩

川崎市南部児童相談所

1-OS5-5

周産期リエゾンチームの妊産婦自殺予防と小児虐待防止対策 ～周産期リエゾンと新生児集中ケアの必要性～

○大谷 恭平<sup>1</sup>、山田 恭子<sup>2</sup>、吉野 優里<sup>2</sup>、印部 伸庸<sup>1</sup>、新藤 良太<sup>1</sup>、森脇 光信<sup>2</sup>、久留嶋 祥吾<sup>1</sup>

<sup>1</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構精神神経科、<sup>2</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院

11:45~12:45

### 一般演題(口演) 6

#### 児童・思春期精神障害2

司会：辻井 農重

富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

1-OS6-1

親との死別を経験した大学生のうつ・不安症状について

○吉塚 悌子<sup>1</sup>、石井 隆太<sup>1</sup>、大園 秀一<sup>1</sup>、小原 仁<sup>1</sup>、室谷 健太<sup>1</sup>、永光 信一郎<sup>2</sup>、山下 裕史朗<sup>3</sup>、水落 建輝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>久留米大学病院、<sup>2</sup>福岡大学病院、<sup>3</sup>柳川療育センター

1-OS6-2

生まれ月による神経発達症患者の受診者数の違い

○柳澤 尚実

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

1-OS6-3 トウレット障害における汚言（汚行）について ～切ない嫌がらせ～

○大槻 一行、前田 佐知  
三重県立子ども心身発達医療センター

1-OS6-4 ＊自閉スペクトラム症を合併した治療抵抗性統合失調症の女兒にクロザピンが奏功した1例

○上山 佑一郎、松本 唯、梅原 英裕、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助  
徳島大学病院

1-OS6-5 18歳になる前に死のうとした男児が誰にも言わなかった思いを語るまで

○箱島 有輝、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英  
国立国際医療研究センター国府台病院

13:30～14:30 一般演題（口演）7  
知的障害・発達障害

司会：竹之下 慎太郎 岡山大学病院精神科神経科

1-OS7-1 ＊自閉スペクトラム症・知的発達症の全ゲノム解析および機能解析に向けて

○古川 佐和子<sup>1</sup>、久島 周<sup>1,2</sup>、加藤 秀一<sup>1,3</sup>、木村 大樹<sup>1</sup>、有岡 祐子<sup>4</sup>、奥村 啓樹<sup>4</sup>、尾崎 紀夫<sup>4</sup>、池田 匡志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学医学系研究科精神医学、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター、<sup>3</sup>名古屋大学医学部附属病院親と子の心療科、<sup>4</sup>名古屋大学医学系研究科精神疾患病態解明学

1-OS7-2 アクチグラフを用いた自閉スペクトラム症児の問題行動に寄与する睡眠障害の解明

○清水 日智<sup>1</sup>、川原 紘子<sup>1,2</sup>、大橋 愛子<sup>1</sup>、寺田 和憲<sup>3</sup>、岩永 竜一郎<sup>4</sup>、熊崎 博一<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>医療法人厚生会道ノ尾病院、<sup>3</sup>岐阜大学工学部電気電子・情報工学科情報コース、<sup>4</sup>長崎大学生命医科学域、<sup>5</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座精神神経科学

1-OS7-3 青年・成人感覚プロフィールを用いたASDとADHDの感覚処理特性の比較検討

○長塚 雄大<sup>1,2,3,4</sup>、太田 晴久<sup>1,2,4</sup>、五十嵐 美紀<sup>4</sup>、今井 美穂<sup>2</sup>、岩見 有里子<sup>1,5</sup>、川畑 啓<sup>2</sup>、小峰 洋子<sup>4</sup>、彦坂 雄一<sup>2</sup>、水野 健<sup>4</sup>、横井 英樹<sup>2,4</sup>、真田 建史<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>昭和医科大学附属烏山病院、<sup>3</sup>医療法人社団正史会大和病院、<sup>4</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所、<sup>5</sup>昭和医科大学病院附属東病院

1-OS7-4 当院の学習障害専門外来における実態調査

○山崎 知克、藤堂 紗織、片山 成仁  
医療法人社団成仁成仁病院

1-OS7-5 ＊発達特性に配慮した治療により軽快した自閉スペクトラム症・知的障害を有する回避・制限性食物摂取症の一例

○本多 みずほ、森田 啓史、小松 静香、津田 敦、赤松 正規、高橋 秀俊、数井 裕光  
高知大学医学部附属病院

14:30～15:30 一般演題（口演）8  
コンサルテーション・リエゾン

司会：福本 健太郎 岩手医科大学神経精神科学講座

1-OS8-1 統合失調症スペクトラム障害患者における術後せん妄発症頻度とそのリスク因子について

○松本 佳大<sup>1</sup>、綾仁 信貴<sup>1</sup>、藤原 雅樹<sup>2</sup>、船楓 紀也<sup>4</sup>、高橋 愛<sup>4</sup>、深尾 貴志<sup>2</sup>、植田 真司<sup>2</sup>、大矢 希<sup>1</sup>、北岡 力<sup>1</sup>、井上 真一郎<sup>3</sup>、成木 迅<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、<sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室、<sup>3</sup>新見公立大学健康科学部看護学科、<sup>4</sup>関西医科大学総合医療センター精神神経科



1-OS8-2

**小児期逆境体験は、中枢神経系炎症性脱髄疾患患者の発症年齢、抑うつ、不安に関連する**

○柏木 宏子<sup>1</sup>、稲川 雄太<sup>2,3</sup>、岡本 智子<sup>2</sup>、小川 真太郎<sup>4</sup>、林 幼偉<sup>2</sup>、高橋 祐二<sup>2</sup>、山村 隆<sup>5</sup>、堀 弘明<sup>4</sup>、吉田 寿美子<sup>6</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科、<sup>3</sup>東京医科大学高齢総合医学分野、<sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部、<sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部、<sup>6</sup>国立精神・神経医療研究センター病院精神科

1-OS8-3

**せん妄治療薬に関する臨床意思決定支援システム（CDSS）プロトタイプの開発とその可能性**

○大橋 愛子<sup>1</sup>、清水 日智<sup>1</sup>、浦島 佳代子<sup>1</sup>、矢作 尚久<sup>1,2</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科/環境情報学部

1-OS8-4

**演題取り下げ**

1-OS8-5

**\*橋本脳症が疑われた Cotard Syndrom の1例**

○大屋 久晴、吉田 聡、酒井 崇、鈴木 國文、安藤 琢弥

医療法人生生会松蔭病院

15:45~16:35 一般演題（口演）9

神経症性障害（研究）

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

1-OS9-1

**\*小児期逆境体験の質的差異が精神症状と生活の質に与える影響**

○高橋 優輔<sup>1,2</sup>、山岸 美香<sup>1,5</sup>、中越 清子<sup>1,5</sup>、里村 嘉弘<sup>3</sup>、頓所 詩文<sup>1</sup>、澤井 大和<sup>1</sup>、金原 明子<sup>1</sup>、森田 健太郎<sup>1</sup>、柳下 祥<sup>4</sup>、笠井 清登<sup>1,3,5</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院精神神経科、<sup>2</sup>一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院、<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科・医学部医学のダイバーシティ教育研究センター、<sup>4</sup>東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター構造生理学、<sup>5</sup>東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構

1-OS9-2

**精神疾患や中間表現型ポリジェニックスコアを用いた機械学習によるパニック症の判別**

○大井 一高<sup>1</sup>、音羽 健司<sup>2</sup>、貝谷 久宣<sup>3</sup>、佐々木 司<sup>4</sup>、谷井 久志<sup>5</sup>、塩入 俊樹<sup>1</sup>、原 武史<sup>6</sup>

<sup>1</sup>岐阜大学大学院医学系研究科精神医学、<sup>2</sup>帝京大学医学部精神神経科学教室、<sup>3</sup>医療法人和楽会、<sup>4</sup>東京大学大学院教育学研究科、<sup>5</sup>三重大学保健管理センター、<sup>6</sup>岐阜大学大学院自然科学技術研究科

1-OS9-3

**改善版強迫症治療ソフトの有効性と忍容性の検討：パイロット研究と無作為化比較試験**

○今井 必生<sup>1</sup>、Luo Yan<sup>2</sup>、船田 哲<sup>3</sup>、橋本 健志<sup>4</sup>、松石 邦隆<sup>5</sup>、高松 桃子<sup>6</sup>、吉原 育男<sup>7</sup>、平岡 やよい<sup>8</sup>、水井 康太<sup>9</sup>、福島 春子<sup>5</sup>、松田 耕平<sup>5</sup>、橋本 隆志<sup>5</sup>、古川 壽亮<sup>10</sup>

<sup>1</sup>大橋クリニック、<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科医学教育・国際化推進センター、<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部HTA公的分析研究室、<sup>4</sup>橋本健志クリニック、<sup>5</sup>神戸市立医療センター中央市民病院精神・神経科、<sup>6</sup>ももふくクリニック、<sup>7</sup>こころのクリニック吉原医院、<sup>8</sup>宝塚こころのクリニック、<sup>9</sup>花のみちこころの診療所、<sup>10</sup>京都大学成長戦略本部

1-OS9-4

**成人期PTSDに対するEMDRの効果検証についての予備的研究；進捗報告**

○森 貴俊<sup>1</sup>、久富 香苗<sup>1</sup>、上野 久美子<sup>1</sup>、野畑 宏之<sup>1</sup>、今村 明<sup>2</sup>、川端 康雄<sup>3</sup>、椎野 智子<sup>4</sup>、菊池 安希子<sup>5</sup>、天野 玉記<sup>6</sup>、上田 英一郎<sup>7</sup>、前田 多章<sup>8</sup>、柿木 慎吾<sup>9</sup>、市井 雅哉<sup>10</sup>

<sup>1</sup>心療内科新クリニック、<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科作業療法学分野、<sup>3</sup>大阪医科薬科大学神経精神医学教室、<sup>4</sup>神戸親和大学文学部心理学科、<sup>5</sup>武蔵野大学人間科学部、<sup>6</sup>社会福祉法人清章福祉会、<sup>7</sup>大阪医科薬科大学病院医療総合管理部、<sup>8</sup>甲南大学知能情報学部、<sup>9</sup>兵庫県こころのケアセンター、<sup>10</sup>兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野

16:45~17:45 一般演題（口演）10  
神経症性障害（症例）

司会：浅見 剛 横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門

- 1-OS10-1 \*うつ病を合併した身体表現性疼痛障害に対してECTを施行し、抑うつ症状ならびに疼痛が消退した一例  
○小川 慧祐、中澤 亜美、小高 文聰、神田 彩子、森 啓輔、山田 洸大、石井 一裕、鬼頭 伸輔  
東京慈恵会医科大学精神医学講座
- 1-OS10-2 \*入院を通して治療関係の再構築が成された解離性同一症の1例  
○箕輪 真人、中山 洋介、手塚 未希、福田 周一、西依 康、岡田 剛史、須田 史朗  
自治医科大学附属病院
- 1-OS10-3 \*ブレクスピラゾールを用いた増強療法により急激な認知機能低下を呈した一例  
○野口 博人、大宮 友貴、菅野 猛、市川 香識、坂内 聖、橋岡 禎征  
旭川医科大学病院精神科神経科
- 1-OS10-4 高度低栄養状態を伴う重度難治性強迫症に対して修正型電気けいれん療法を施行した1例  
○宮崎 将也、山本 順子、筒井 真衣子、小原 絵夢、高丸 勇司、笹川 嘉久  
小樽市立病院
- 1-OS10-5 \*集中的な心理社会的介入により、繰り返される自殺企図が速やかに改善した解離性同一性障害の一例  
○福里 那波、西村 康平  
神奈川県立精神医療センター

18:00~19:00 一般演題（口演）11  
神経科学

司会：岡田 直大 東京大学

- 1-OS11-1 トポロジカルデータ解析を用いた神経精神ループスの診断精度向上のための臨床研究  
○浦島 佳代子<sup>1</sup>、一瀬 邦弘<sup>2,3</sup>、木田 節<sup>4</sup>、佐藤 秀三<sup>5</sup>、下島 恭弘<sup>6</sup>、藤原 道雄<sup>7</sup>、宮脇 義亜<sup>8</sup>、吉見 竜介<sup>9</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>、川上 純<sup>3</sup>、植木 優夫<sup>10</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>島根大学医学部膠原病・リウマチ内科学、  
<sup>3</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ膠原病内科学、  
<sup>4</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科免疫内科学講座、<sup>5</sup>福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科学講座、  
<sup>6</sup>信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、  
<sup>7</sup>独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院リウマチ科・膠原病内科、  
<sup>8</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学、  
<sup>9</sup>横浜市立大学大学院医学研究科幹細胞免疫制御内科学、<sup>10</sup>長崎大学情報データ科学部
- 1-OS11-2 慢性疼痛患者の楔前部高血流は、ADHD治療薬による痛みと認知機能の改善を予測するバイオマーカーとなり得る  
○笠原 諭<sup>1,2</sup>、高橋 美和子<sup>3</sup>、相馬 努<sup>4</sup>、森田 泰斗<sup>1</sup>、佐藤 直子<sup>5</sup>、松平 浩<sup>2</sup>、百瀬 敏光<sup>6</sup>、丹羽 真一<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、<sup>2</sup>福島県立医科大学疼痛医学講座、  
<sup>3</sup>国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所分子イメージング診断治療研究部、  
<sup>4</sup>PDRファーマ株式会社ソフト開発室、<sup>5</sup>東京大学医学部附属病院看護部、<sup>6</sup>東京大学大学院工学系研究科総合研究機構、  
<sup>7</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座
- 1-OS11-3 精神科通院日に施行した心電図所見と外来通院中の精神科入院、自殺行動の関係  
○亀山 洋<sup>1,2</sup>、杉本 健一<sup>3</sup>、政木 隆博<sup>3</sup>、岡部 究<sup>1,2</sup>、忽滑谷 和孝<sup>1,2</sup>、繁田 雅弘<sup>2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、  
<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座



1-OS11-4

ラウドネス依存性聴覚誘発電位 (LDAEP) を用いた感覚過敏性の評価

○藤田 貢平<sup>1</sup>、竹内 伸行<sup>2</sup>、藤田 雄輝<sup>1</sup>、神谷 妙子<sup>1</sup>、西原 真理<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛知医科大学病院、<sup>2</sup>美術館前こころのクリニック

1-OS11-5

Tramadolによる脳内モノアミン上昇に対する気温と risperidone の影響

○岡田 剛史、小尾 誠治、高野 学、塩田 勝利、須田 史朗

自治医科大学精神医学講座

## 6月19日(木) K会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽1)

8:30~10:30

シンポジウム 29 (精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会)

日本の精神科医療・保健福祉の未来を考える 2025

司会：佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

相澤 明憲

特定医療法人佐藤会弓削病院

SY29-1

総論「わが国の精神科医療・保健福祉のあるべき姿について」をめぐる議論とその後の検討について

○水野 雅文

社会医療法人あさかホスピタル

SY29-2

多様化する支援ニーズに応える地域ケアの未来像

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

SY29-3

精神科急性期医療の今後のあるべき姿

○森脇 久視

神奈川県立精神医療センター

SY29-4

慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会からの提言

○針間 博彦

東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文

社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

相澤 明憲

特定医療法人佐藤会弓削病院

10:45~12:45

シンポジウム 30 (地域ケアにおける自立支援のあり方検討委員会)

地域精神医療の未来を語る

司会：佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

林 輝男

社会医療法人清和会西川病院

SY30-1

市町村と精神科診療所の連携の可能性

○上ノ山 一寛

医療法人遙山会南彦根クリニック

SY30-2

少子高齢化社会における地域の中の精神科病院の役割

○澤 滋

社会医療法人北斗会さわ病院

SY30-3 自殺未遂者のリハビリ支援における無床総合病院精神科の地域連携

○平 俊浩、小田 幸治  
福山市民病院精神科・精神腫瘍科

SY30-4 自治体の精神保健支援から見た地域精神医療の未来

○野口 正行  
岡山県精神保健福祉センター

〔指定発言者〕

藤井 千代  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
〈サブコーディネーター〉 林 輝男 社会医療法人清和会西川病院

13:30～15:30 シンポジウム 31（急性期治療のあり方検討委員会）  
（提言）急性期精神科医療のあるべき姿の公表に向けて～急性期治療のあり方検討委員会からの原案提示～

司会：平安 良雄 社会医療法人へいあん平安病院  
濱口 達也 三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿厚生病院

SY31-1 急性期精神科医療における身体合併症と意思決定支援の問題

○根本 康  
さいたま市立病院精神科

SY31-2 認知症の人への急性期精神科医療

○文 鐘玉<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>慶応義塾大学病院、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>3</sup>社会医療法人公徳会佐藤病院

SY31-3 児童思春期精神科急性期医療のあるべき姿

○松田 文雄  
医療法人翠星会松田病院

〈メインコーディネーター〉 来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター  
〈サブコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

15:45～17:45 シンポジウム 32（慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会）  
慢性療養者の医療・支援のあるべき姿とは

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル  
相澤 明憲 特定医療法人佐藤会弓削病院

SY32-1 慢性療養者の退院をかなえる医療のあるべき姿とは：治療について

○宮田 量治<sup>1</sup>、安西 信雄<sup>2</sup>、村川 泰徳<sup>3</sup>、村井 千賀<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院、<sup>2</sup>帝京平成大学、<sup>3</sup>岩手県立南光病院、<sup>4</sup>石川県立こころの病院

SY32-2 慢性療養者のスムーズな地域移行のための精神科リハビリテーション

○村井 千賀<sup>1</sup>、宮田 量治<sup>2</sup>、安西 信雄<sup>4</sup>、村川 泰徳<sup>3</sup>、北村 立<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県立こころの病院、<sup>2</sup>山梨県立北病院、<sup>3</sup>岩手県立南光病院、<sup>4</sup>帝京平成大学



SY32-3

**当事者主体の実践～ハウジングファースト～**

○洗 成子

公益財団法人愛世会愛誠病院

SY32-4

**慢性療養者への多様な連携による支援の事例**

○枝國 典子

医療法人光の会重本病院

**〔指定発言者〕**

安西 信雄

帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

〈メインコーディネーター〉 針間 博彦

東京都立松沢病院

〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

相澤 明憲

特定医療法人佐藤会弓削病院

18:00～20:00

**シンポジウム 33**

**発達過程における未分化な状態像をいかに捉え、治療するか**

司会：岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

小平 雅基

総合母子保健センター愛育クリニック

SY33-1

**発達期にみられる焦燥を伴う抑うつ、気分変動**

○岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

SY33-2

**発達過程における未分化な精神病様症状の理解と支援**

○藤田 純一

横浜市立大学附属病院

SY33-3

**神経発達症における回避・制限性食物摂取症**

○鈴木 太<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>上林記念病院こども発達センターあおむし、<sup>2</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門

SY33-4

**アタッチメントや衝動性の課題と情動調節障害**

○今村 明<sup>1,2</sup>、徳永 瑛子<sup>1,2</sup>、岩永 竜一郎<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医歯薬学総合研究科作業療法学分野、<sup>2</sup>長崎大学子どもの心の医療・教育センター

SY33-5

**逆境的小児期体験とファンタジー/解離**

○小平 雅基

総合母子保健センター愛育クリニック

〈メインコーディネーター〉 小平 雅基

総合母子保健センター愛育クリニック

〈サブコーディネーター〉 岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

## 6月19日(木) L会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽2)

### 8:30~10:30 シンポジウム 34 ビデオ脳波で学ぶ、てんかんと併存し鑑別することが求められる精神疾患

司会：栗田 紹子 市立稚内病院  
櫻井 高太郎 医療法人福智会すずかけクリニック

#### SY34-1 てんかんと精神症状：概説と症例提示

○長谷川 直哉  
国立病院機構西新潟中央病院

#### SY34-2 神経発達症のある人のてんかん発作疑いの症状に対する長時間ビデオ脳波の有用性と限界について

○谷口 豪、中田 千尋、加藤 英生、大竹 真央、梅田 真洋、斉藤 聡志、藤 雄一朗  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

#### SY34-3 ビデオ脳波による精神症状とてんかん発作の鑑別

○西田 拓司  
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

#### SY34-4 認知症とてんかん

○渡邊 さつき  
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

〈メインコーディネーター〉 長谷川 直哉 国立病院機構西新潟中央病院  
〈サブコーディネーター〉 谷口 豪 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
西田 拓司 静岡てんかん・神経医療センター

### 10:45~12:45 シンポジウム 35 統合失調症 up to date:よりよい診断と治療を目指して

司会：橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター  
村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

#### SY35-1 統合失調症の診断基準の現状と課題：DSM-5とICD-11の比較を中心に

○杉原 玄一  
東京科学大学精神行動医科学分野

#### SY35-2 統合失調症の補助診断法開発の動向

○森田 健太郎  
東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

#### SY35-3 臨床精神医学に活かすゲノム研究の成果

○池田 匡志  
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学

#### SY35-4 統合失調症の脳画像病態研究の動向

○松本 純弥  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部



SY35-5

## 統合失調症の治療の動向

○稲田 健

北里大学医学部精神科学

### 〔指定発言者〕

夏莉 郁子

やきつべの径診療所

### 〔指定発言者〕

鈴木 道雄

糸魚川診療所／有沢橋病院

〈メインコーディネーター〉 橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター

〈サブコーディネーター〉 村井 俊哉

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

13:30～15:30

## シンポジウム 36

依存症等、対応に迷うケースに「問題解決しない事例検討会」を活用した地域での多職種・多機関連携

司会：佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学神経精神医学講座

SY36-1

### 「問題解決しない事例検討会」とは何か

○田中 和彦

日本福祉大学

SY36-2

### 「まなざし」が変化していく体験をわかちあうー「丸投げ」ではなく「ゆるやかにつながり続ける」連携へー

○西念 奈津江

北陸HIV情報センター

SY36-3

### 「問題解決しない事例検討会」の長崎モデルと地域連携

○福田 貴博

医療法人見松会あきやま病院

SY36-4

### 「問題解決しない事例検討会」の支援者支援効果ー沖縄モデルの実践報告ー

○手塚 幸雄

医療法人タビック沖縄リハビリテーションセンター病院

SY36-5

### 問題解決すんのかい？せーへんのかい！～“解決しない”支援で未来を拓く～

○入来 晃久

大阪精神医療センター

### 〔指定発言者〕

辻本 哲士

滋賀県立精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 手塚 幸雄

医療法人タビック沖縄リハビリテーションセンター病院

〈サブコーディネーター〉 福田 貴博

医療法人見松会あきやま病院

入来 晃久

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

15:45～17:45 シンポジウム 37 (PCN Reports 編集委員会)  
生成AIを「正しく」使って論文を効率的に作成しようー若手精神科医のための臨床研究事始め(第三弾)

司会：鈴木 道雄 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座  
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科

SY37-1 生成AIを活用した研究論文執筆：現状と適切な実装に向けて

○香田 将英  
岡山大学学術研究院医歯薬学地域医療共育推進オフィス

SY37-2 論文執筆の際に生成AIではいけないこと、気をつけたいこと：ICMJE勧告などをもとに

○立森 久照  
慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

SY37-3 スマートフォン上での生成AI活用法

○吉田 和生  
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター・監理センター

SY37-4 論文執筆において生成AIが出力しがちな英語表現の特徴

○松井 健太郎  
国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

SY37-5 労力をかけずに、実力は磨いて、生成AI活用で国際学会発表を乗り切ろう

○宋 龍平  
岡山県精神科医療センター

〔指定発言者〕

古郡 規雄  
獨協医科大学

〔指定発言者〕

須田 史朗  
自治医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科  
〈サブコーディネーター〉 鈴木 道雄 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座

18:00～20:00 シンポジウム 38  
「不安性の苦痛を伴う」うつ病を深掘りする

司会：古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神科

SY38-1 抑うつにおける不安・興奮（焦燥・激越うつ病）と双極性

○大前 晋  
国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科

SY38-2 「不安性の苦痛を伴う」うつ病（DSM-5）の概説

○大坪 天平  
東京女子医科大学附属足立医療センター

SY38-3 不安性苦痛と抑うつ性混合状態との関連ーコインの表と裏か？

○武島 稔  
明心会柴田病院精神科



SY38-4

不安性苦痛を伴ううつ病とメランコリア —2つの「不安」をめぐる—

○玉田 有

東京医科大学精神医学分野

SY38-5

不安性の苦痛を伴ううつ病に対する薬物療法

○菅原 裕子

福岡大学医学部精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 井上 猛

東京医科大学／札幌花園病院

〈サブコーディネーター〉 玉田 有

東京医科大学精神医学分野

## 6月19日(木) M会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽3)

8:30~10:30

### シンポジウム 39

解離性同一性症をどう理解するか、どう治療するか—DID実践治療アプローチの展開

司会：松本 俊彦

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

井上 悠里

医療法人豊仁会まな星クリニック

SY39-1

解離に対するソマティック・アプローチ

○牧野 有可里

ソマティック・アプローチ・ジャパン

SY39-2

「解離症の治療原則」を解離性同一性症に適用する

○新谷 宏伸

明雄会本庄児玉病院

SY39-3

解離性障害治療の成否を分けるトラウマ処理の前後：「起」と「結」の作業についての実践的考察

○大友 理恵子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>カウンセリングルーム rtam、<sup>2</sup>医療法人黒崎中央医院

〔指定発言者〕

細澤 仁

フェルマータ・メンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 新谷 宏伸

本庄児玉病院

〈サブコーディネーター〉 新村 秀人

大正大学臨床心理学部

10:45~12:45

### シンポジウム 40

短時間診療に活かす認知行動療法

司会：菱本 明豊

神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

久我 弘典

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY40-1

マニュアルに基づいた認知行動療法の概要とエッセンスについて

○菊地 俊暁

慶應義塾大学

SY40-2

認知行動療法マップを用いて短時間で行う効率型認知行動療法

○梅本 育恵<sup>1,2</sup>、久我 弘典<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学大学院医学研究科

SY40-3

#### 4Aステップによる短時間CBT

○徳山 明広

一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

SY40-4

#### 日常臨床における認知行動療法的なアプローチについて

○樽谷 精一郎

大阪精神医学研究所新阿武山病院

SY40-5

#### アスピレーションを日常臨床に取り入れる

○林 竜也

医療法人心葉会林こころのクリニック

#### 〔指定発言者〕

大野 裕

大野研究所

〈メインコーディネーター〉 徳山 明広

一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

〈サブコーディネーター〉 久我 弘典

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:30～15:30

### シンポジウム 41

認知行動療法のこれから～リカバリーを目指す認知療法 (recovery-oriented cognitive therapy: CT-R)～

司会：久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

松本 和紀

こころのクリニック O A S I S

SY41-1

#### リカバリーを目指す認知療法の集団療法としての可能性と普及に向けた取り組み

○三田村 康衣<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、

<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学大学院医学研究科医学系専攻博士課程連携大学院脳病態制御学

SY41-2

#### CT-Rを日常の外来診療に採り入れる～精神科診療所でのリカバリーを目指した心理的支援の実践

○松本 和紀

こころのクリニック OASIS

SY41-3

#### リカバリーを目指す認知療法のセッティングを変えた適用について

○耕野 敏樹

岡山大学学術研究院社会文化科学学域(文学部)

SY41-4

#### 精神科病院におけるCT-Rの実践

○徳山 明広

一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

#### 〔指定発言者〕

大野 裕

大野研究所

〈メインコーディネーター〉 久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター



15:45～17:45 シンポジウム 42

日豪における地域で若者を支える早期支援と就労支援の社会実装

司会：藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
根本 隆洋 東邦大学医学部医学科精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

SY42-1 Development of evidence, translation and implementation of individual placement and support in early intervention and youth mental health services in Australia

○Eoin Killackey<sup>1,2,3</sup>、Gina Chinnery<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Orygen、<sup>2</sup>CYMH, The University of Melbourne、<sup>3</sup>Centre for Population Health, Haukeland University Hospital

SY42-2 Strengthening the IPS workforce: designing and implementing a competency-based IPS Workforce Development Framework for headspace centres in Australia

○Gina Chinnery、Eoin Killackey、Marina Kunin、James Whiting

Orygen

SY42-3 日本における Individual Placement and Support の現状：若者に対する効果と実装の課題

○山口 創生

国立精神・神経医療研究センター

SY42-4 日本における若者に向けた早期相談・支援サービス：保健と医療の橋渡しの中での個別就労支援

○内野 敬

東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〔指定発言者〕

林 輝男

社会医療法人清和会西川病院

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈サブコーディネーター〉 根本 隆洋

東邦大学医学部医学科精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

山口 創生

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

18:00～20:00 シンポジウム 43

幻覚・妄想が行動に及ぼす影響－精神症状評価の未開の地を拓く

司会：赤崎 安昭 鹿児島大学医学部保健学科  
柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY43-1 幻覚妄想の行動への影響：裁判所スタイル

○村松 太郎

JDC六番町メンタルクリニック

SY43-2 統合失調症患者はなぜ幻聴の言葉に従ってしまうのか？：“他律”の概念を用いた自我障害の観点からの考察

○大井 博貴

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY43-3 妄想の神経科学的・計算論的3要因モデル

○宮田 淳

愛知医科大学医学部精神科学講座

SY43-4

## 幻覚・妄想と意思決定論

○竹村 和久  
早稲田大学

### 〔指定発言者〕

今井 淳司  
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
〈サブコーディネーター〉 赤崎 安昭 鹿児島大学医学部保健学科  
村松 太郎 六番町メンタルクリニック／慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

## 6月19日(木) N会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 和楽)

8:30~9:30

### 教育講演 7

司会：市来 真彦 東京医科大学学生・職員健康サポートセンター

EL7

### 社会生活スキルトレーニング（SST）の理解と使い方～対人関係スキルを向上させるツールの活用法

○高橋 恵<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北里大学医学部精神科、<sup>2</sup>メンタルヘルス対策研究所



9:30~10:30

### 教育講演 8

司会：村上 伸治 川崎医科大学精神科学

EL8

### AIによる精神療法の可能性 — 精神科医はAIに勝てるのか？ —

○加賀谷 隼輔

医療法人荳野愛生会緑ヶ丘病院



10:45~11:45

### 教育講演 9

司会：古郡 規雄 獨協医科大学

EL9

### 非経済的利益相反（non-financial conflict of interest）— 研究の公平性へのさらなる課題 —

○仙波 純一

東京愛成会たかつきクリニック





11:45~12:45 **教育講演 10**

司会：中村 和彦 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

EL10

**思春期自殺要因の統計学的解析：ポストコロナの自殺対策EBPM化の必要性**

○岡田 元宏

三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座精神神経科学分野



13:30~14:30 **教育講演 11**

司会：山田 了士 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

EL11

**精神科医療機関の電子カルテと個人情報サイバー攻撃から守るために**

○加藤 智巳

BC Signpost 株式会社



14:30~15:30 **教育講演 12**

司会：黒木 宣夫 医療法人宣而会勝田台メディカルクリニック

EL12

**司法審査が導入された児童相談所の一時保護に関して**

○高田 隆一

こども家庭庁支援局虐待防止対策課

15:45~16:45 **教育講演 13**

司会：住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

EL13

**感覚情報処理特性の神経生理学的研究から考えるメンタルヘルスケア：センサリーフレンドリーな社会にむけて**

○高橋 秀俊

高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学



16:45～17:45 **教育講演 14**

司会：宮内 和瑞子 宮内クリニック

EL14

**“身体性問題”と“コーディネーショントレーニング”から見た精神医学領域への  
接近およびその活用**

○荒木 秀夫

NPO 法人日本コ オーディネーショントレーニング協会 (JACOT) 理事長 / 徳島大学名誉教授



18:00～20:00 **シンポジウム 44**

**多職種協働の視点から考えるこれからの虐待対応の在り方について～初期対応から息の長い  
支援まで～**

司会：山田 恵太 Mieli 法律事務所  
増田 祥子 日本赤十字社医療センター

SY44-1

**当センターの多機関連携での虐待対応の取り組み**

○田上 幸治

神奈川県立こども医療センター

SY44-2

**子どもの虐待の初期対応における多職種協働～医療と刑事司法の交差点～**

○横田 正久

横浜地方検察庁

SY44-3

**性暴力被害者支援における多職種協働：加害者が家庭外の場合および成人後に被害開示された性暴  
力について**

○斎藤 梓

上智大学

SY44-4

**児童虐待により傷つけられた心の再生**

○増田 祥子

日本赤十字社医療センター

SY44-5

**虐待の長期的影響の一例：被害者性と加害者性の円環**

○山田 恵太

Mieli 法律事務所

〈メインコーディネーター〉 増田 祥子 日本赤十字社医療センター  
〈サブコーディネーター〉 横田 正久 横浜地方検察庁



## 6月19日(木) O会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 生田)

8:30~10:30

### シンポジウム 45

からだの痛みとこころの痛み:脳から生じる痛みの臨床・研究最前線

司会: 白井 千恵

順天堂大学医学部附属練馬病院

井上 雄一

東京医科大学睡眠学講座

SY45-1

#### 慢性疼痛を関係性の文脈から考える

○西原 真理

愛知医科大学病院

SY45-2

#### 痛覚変調性疼痛～脳から生じる痛み～

○白井 千恵

順天堂大学医学部附属練馬病院

SY45-3

#### 痛みを脳と身体の対話から紐解く

○吉野 敦雄<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>広島大学保健管理センター、<sup>2</sup>広島大学脳・こころ・感性科学研究センター

SY45-4

#### 慢性疼痛と新型/現代型うつ

○加藤 隆弘<sup>1</sup>、藤本 晃嗣<sup>2,3</sup>、細井 昌子<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>2</sup>九州大学病院集学的痛みセンター、

<sup>3</sup>九州大学病院心療内科

SY45-5

#### 中枢性感作と睡眠障害の関係性について

○井上 雄一<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京医科大学睡眠学講座、<sup>2</sup>睡眠総合ケアクリニック代々木

〈メインコーディネーター〉 白井 千恵

順天堂大学医学部附属練馬病院

〈サブコーディネーター〉 井上 雄一

東京医科大学睡眠学講座

10:45~12:45

### Fellowship Award Symposium 1 (国際委員会)

Natural Disasters and Mental Health, Including due to Global Climate Change

(自然災害とメンタルヘルス(地球規模の気候変動による影響を含む))

Chairperson: Ken Suzutani

Aizu Medical Center, Department of Psychiatry

FAS1-1

#### Climate Change, Mental Health Risks and Potential Mitigation Strategies in Canada

○Siqi Xue

Department of Psychiatry, University of Toronto, Canada

FAS1-2

#### Insights from Australia and Japan on Addressing Climate-Induced Psychological Trauma and Building Resilience

○Kelvin Chit Yuen Leung<sup>1,2,3,4</sup>

<sup>1</sup>Royal North Shore Hospital, Sydney, Australia,

<sup>2</sup>Specialty of Psychiatry, School of Medicine, Faculty of Medicine and Health, The University of Sydney, Australia, <sup>3</sup>Graduate Medicine, University of Wollongong, Australia,

<sup>4</sup>Master of Science Program in Mental Health (International Program), Graduate School, Chiang Mai University, Thailand

FAS1-3

#### Mental Health Interventions in Turkey's Post-Disaster Response

○Ahmet Gürçan

Department of Psychiatry, Baskent University Medical Faculty, Turkey

FAS1-4

## Mental Health Support in Japan During Disasters: Past, Present, and Future

○Junko Kitaoka

Public interest incorporated foundation Fukkokuai Tarumi Hospital, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴

愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

13:30~15:30

## Fellowship Award Symposium 2 (国際委員会)

Natural Disasters and Mental Health, Including due to Global Climate Change  
(自然災害とメンタルヘルス(地球規模の気候変動による影響を含む))

Chairperson : Fumiya Miyano Department of Psychiatry, Hokkaido University Graduate School of Medicine

FAS2-1

## Addressing Post-Disaster Mental Health in Iran: Past Experiences, Future Risks, and Strategic Preparedness

○Taravat Vahedi

Roozbeh Hospital, Tehran University of Medical Sciences, Tehran, Iran

FAS2-2

## Spirituality and Post-traumatic Growth in Context of Earthquake

○Usama Bin Zubair

Pakistan Institute of Mental Health, Pakistan

FAS2-3

## Community-Based Mental Health Interventions for Disaster Preparedness and Resilience in Cambodia

○Sovady Bora

Cambodian Children's Fund, Cambodia

FAS2-4

## Mental Health in Disaster Preparedness: Insights from Japan's DPAT System

○Shota Furukawa

Keio University School of Medicine, Department of Neuropsychiatry, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴

愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

15:45~17:45

## Fellowship Award Symposium 3 (国際委員会)

Case Vignette: Treating an Adolescent with Sexual Victimization  
(ケースビネット:性被害を受けた思春期患者の支援)

Chairperson : Emiri Ohki Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital

FAS3-1

## Navigating Sexual Trauma in Ecuador

○Andrés A. Román Jarrín

Hospital General Dr. Enrique Ortega Moreira, Ecuador

FAS3-2

## Spanish Perspectives on Child and Adolescent Sexual Abuse: A Trauma-Informed, Guilt-Reducing Approach

○Claudia Aymerich Nicolas

Basurto University Hospital. Osakidetza, Basque Health Service. Bilbao, Spain.

FAS3-3

## Sexual Victimization in child, Adolescent & Youth in Bangladesh: A tip of Iceberg

○Sumaiya Bente Jalil

Child, Adolescent & Family Psychiatry, National Institute of Mental Health, Bangladesh



FAS3-4

## Addressing Sexual Victimization in Children and Adolescents in Japan

○Shiori Shakagori

Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴

愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

18:00～20:00

## シンポジウム 46

精神科医は「意識」をどう見ているか？ ―多様な専門的視点から考える

司会：西原 真理

愛知医科大学病院いたみセンター

兼本 浩祐

愛知医科大学精神科学講座

SY46-1

### 精神科医からみた「意識」―感覚神経生理の視点から

○西原 真理

愛知医科大学病院

SY46-2

### 解離における意識障害

○兼本 浩祐

中部PNESリサーチセンター

SY46-3

### フロイトの無意識的欲動と脳内免疫細胞：ミクログリアは「死の欲動」を司る？

○加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY46-4

### 意識とAI、そして神経精神分析

○久保田 泰考

滋賀大学保健管理センター

SY46-5

### 脳波で考える「意識」：精神科診療への示唆

○西田 圭一郎

大阪医科薬科大学精神神経医学教室

〈メインコーディネーター〉 西原 真理

愛知医科大学病院いたみセンター

〈サブコーディネーター〉 兼本 浩祐

愛知医科大学精神科学講座

## 6月19日(木) P会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室A)

8:30～10:30

## シンポジウム 47

産業医学研修会対象セッション

メンタル疾患労働者強制排除地位確認等請求事件における産業精神保健学的検証

司会：黒木 宣夫

医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック

渡辺 洋一郎

横山・渡辺クリニック

SY47-1

### 精神科医の行う職場復帰可否の判断基準と作成する診断書についての考察

○吉村 靖司

医療法人社団弘富会神田東クリニック

SY47-2 コミュニケーション能力不足社員の症例

○南 昌秀  
コマツクリニック

SY47-3 メンタル疾患労働者強制排除地位確認等請求事件における検証ー精神科医/産業医の立場から

○奥山 真司  
トヨタ自動車株式会社

〔指定発言者〕

吉田 肇  
天満法律事務所

〈メインコーディネーター〉 黒木 宣夫 医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック  
〈サブコーディネーター〉 渡辺 洋一郎 横山・渡辺クリニック

10:45~12:45 シンポジウム 48  
アルツハイマー病の臨床に役立つ神経心理と神経病理ー抗A $\beta$ 抗体療法を踏まえてー

司会：川勝 忍 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座  
橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室

SY48-1 アルツハイマー病の臨床像の多様性

○鐘本 英輝  
大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター

SY48-2 アルツハイマー病の神経心理学

○橋本 衛  
近畿大学医学部精神神経科学教室

SY48-3 アルツハイマー病の神経病理学；抗A $\beta$ 抗体療法を踏まえてー

○川勝 忍  
福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

SY48-4 抗A $\beta$ 抗体療法の実臨床から神経心理学的所見を含む患者像と神経病理像を振り返る

○小林 良太<sup>1,2</sup>、森岡 大智<sup>1,2</sup>、川勝 忍<sup>2,3</sup>、木村 正之<sup>2</sup>、篠田 淳男<sup>2</sup>、鈴木 昭仁<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>篠田総合病院、<sup>3</sup>福島県立医科大学会津医療センター附属病院

〈メインコーディネーター〉 川勝 忍 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室  
小林 良太 山形大学医学部精神医学講座

13:30~15:30 シンポジウム 49（産業保健に関する委員会）  
産業医として精神科医が働くときの基礎知識

産業医学研修会対象セッション

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科  
中川 伸 山口大学医学部附属病院

SY49-1 なぜ職域のメンタルヘルス対策は必要なのかーマインドフルネス、ウェルビーイングの視点からの考察

○佐渡 充洋  
慶應義塾大学保健管理センター



SY49-2 産業医科大学におけるシームレスな産業医養成教育

○吉村 玲児

産業医科大学医学部精神医学講座

SY49-3 精神科と非精神科の産業医の関係

○齋藤 淳一

東邦大学医学部精神神経医学講座

SY49-4 Diversity, Equity & Inclusion と合理的配慮

○出口 裕彦

大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

SY49-5 AIを活用した新しい時代のメンタルヘルスケア

○種市 摂子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>Dr.Ridente 株式会社、<sup>2</sup>特定医療法人社団研精会東京さつきホスピタル

〈メインコーディネーター〉 井上 幸紀

大阪公立大学大学院医学研究科

〈サブコーディネーター〉 吉村 玲児

産業医科大学精神医学講座

15:45～17:45 シンポジウム 50

BPSDの対応アップデート かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン第3版を踏まえて

司会：新井 哲明

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

馬場 元

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

SY50-1 かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン（第3版）作成経緯とアンケート紹介

○根本 清貴、新井 哲明

筑波大学医学医療系精神医学

SY50-2 かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドラインにおけるBPSDの合理的な分類

○品川 俊一郎

東京慈恵医科大学附属病院

SY50-3 非薬物療法を含めたマネジメント

○東 晋二

東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科

SY50-4 アジテーション／幻覚・妄想に対する薬物的介入

○笠貫 浩史

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

SY50-5 認知症のうつ、アパシー、睡眠障害に対する薬物治療

○小林 良太

山形大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 品川 俊一郎

東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 新井 哲明

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

|                  |                                                                      |
|------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 18:00～20:00      | <b>シンポジウム 51</b><br>神経発達症の臨床と研究における精神科と小児科の共闘 ～連合小児発達学研究所と弘前大学の取り組み～ |
| 司会：土屋 賢治<br>廣澤 徹 | 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター<br>金沢大学子どものこころの発達研究センター                       |

- SY51-1 小児科で神経発達症を診るということ ～そのメリットと限界～**  
○橘 雅弥<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院連合小児発達学研究所、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科小児科学
- SY51-2 子どもと大人の神経発達症診療 ～何が同じで何が違うのか～**  
○坂本 由唯  
弘前大学医学部附属病院神経科精神科
- SY51-3 ADHDにおける脳MRI研究の最前線 –神経基盤の解明と客観的バイオマーカーの確立に向けて–**  
○水野 賀史<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター、<sup>2</sup>大阪大学大学院連合小児発達学研究所福井校、<sup>3</sup>福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部
- SY51-4 神経発達症に対する認知行動療法**  
○田口 佳代子  
千葉大学子どものこころの発達教育研究センター
- SY51-5 神経機能画像・神経生理学的アプローチから神経発達症を考える**  
○廣澤 徹  
金沢大学子どもの心の発達研究センター
- 〔指定発言者〕**  
土屋 賢治  
浜松医科大学子どものこころの発達研究センター
- 〈メインコーディネーター〉 菱谷 好洋 大阪大学大学院連合小児発達学研究所  
〈サブコーディネーター〉 橘 雅弥 大阪大学大学院連合小児発達学研究所

## 6月19日(木) Q会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室B)

|                  |                                                              |
|------------------|--------------------------------------------------------------|
| 8:30～10:30       | <b>シンポジウム 52 (災害支援委員会)</b><br>来るべき激甚災害に備え災害精神医学をいかに伝え、いかに学ぶか |
| 司会：富田 博秋<br>高橋 晶 | 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野<br>筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/厚生労働省委託事業DPAT事務局  |

- SY52-1 各都道府県のDPAT研修の運営・工夫による一般の精神医療保健従事者への教育と影響**  
○高橋 晶<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、<sup>2</sup>茨城県立こころの医療センター
- SY52-2 災害精神医療における、理念を共有する人材育成の取り組み**  
○大重 耕三  
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター



SY52-3

いかに、精神科医だけでなく広く医学生・学生に災害精神医学を学んでいただくか

○國井 泰人<sup>1</sup>、濱家 由美子<sup>1</sup>、日野 瑞城<sup>1</sup>、富田 博秋<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

SY52-4

災害精神医学教育と多職種連携

○高尾 碧<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>島根県立こころの医療センター、<sup>2</sup>厚生労働省委託事業DPAT事務局

SY52-5

熊本地震からの学び、女性精神科医の立場から

○安川 節子

熊本ファミリーメンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 富田 博秋

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈サブコーディネーター〉 高橋 晶

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／厚生労働省委託事業DPAT事務局

10:45～12:45

### シンポジウム 53 (PCN 編集委員会)

精神医学・神経学の共通基盤としての臨床神経科学の展望

司会：高橋 英彦

東京科学大学精神行動医科学分野

加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座

SY53-1

多施設・多疾患ヒトMRIデータベースとその利活用

○田中 沙織<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>ATR脳情報通信総合研究所、<sup>2</sup>奈良先端科学技術大学院大学

SY53-2

皮質脳波を用いた臨床システム脳研究によるヒト脳機能・病態の解明

○松本 理器

京都大学大学院医学研究科臨床神経学

SY53-3

AMPA受容体PETの開発と応用

○高橋 琢哉

横浜市立大学大学院医学研究科生理学

SY53-4

日本ブレインバンクネットの設立と展開

○高尾 昌樹

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

〈メインコーディネーター〉 加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 高橋 英彦

東京科学大学精神行動医科学分野

13:30～15:30

### シンポジウム 54 (精神保健福祉法委員会)

非自発的入院の現状と課題

司会：太田 順一郎

岡山市こころの健康センター

布施 泰子

茨城大学保健管理センター

SY54-1

海外での非自発的入院あるいは精神科入院の実態

○小林 慧<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

- SY54-2**      **精神保健福祉法の下での認知症の入院形態、長期在院、行動制限はこれでよいのか**  
○吉岡 隆一  
京都府立洛南病院
- SY54-3**      **非自発的入院制度と権利擁護策の今後のあり方について**  
○柑本 美和  
東海大学法学部
- SY54-4**      **障害者の権利に関する条約（CRPD）から見た日本の非自発的入院—これまでの学会見解をふまえて**  
○森川 将行<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>三重県立こころの医療センター、<sup>2</sup>公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座
- 〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎      岡山市こころの健康センター  
〈サブコーディネーター〉 田口 寿子      神奈川県立精神医療センター

15:45～17:45      **シンポジウム 55**  
**回避・制限性食物摂取症の適切な外来診療：児童期から成人期まで**

司会：山下 達久      からすま五条・やましたクリニック  
高宮 静男      たかみやこころのクリニック

- SY55-1**      **回避・制限性食物摂取症（ARFID）の概観：診断と治療の現状と課題**  
○磯部 昌憲  
京都大学医学部附属病院精神科神経科
- SY55-2**      **摂食症と神経発達症**  
○小坂 浩隆、眞田 陸、幅田 加以瑛、水野 有香、牧野 拓也  
福井大学医学部精神医学
- SY55-3**      **回避・制限性食物摂取症と神経発達症の併存例に対する家族をベースとする治療**  
○鈴木 太<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>上林記念病院こども発達センターあおむし、<sup>2</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門
- SY55-4**      **青年期・成人期の回避・制限性食物摂取症**  
○永田 利彦  
壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック
- 〈メインコーディネーター〉 永田 利彦      壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック  
〈サブコーディネーター〉 山下 達久      からすま五条・やましたクリニック

18:00～20:00      **シンポジウム 56**  
**神経発達症と神経多様性**

司会：小坂 浩隆      福井大学医学部精神医学  
辻井 農亜      富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

- SY56-1**      **神経発達症の治療目標について**  
○辻井 農亜  
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座
- SY56-2**      **自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の類似性と相違性**  
○高橋 長秀  
国立精神神経医療研究センター



SY56-3

**神経発達症を抱えて生きるとのこと-ADHDとトラウマ-**

○國井 泰人

東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

SY56-4

**中高年の神経発達症～親亡き後を見据えて**

○太田 晴久<sup>1</sup>、五十嵐 美紀<sup>1</sup>、横井 英樹<sup>1</sup>、水野 健<sup>1</sup>、小峰 洋子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所、<sup>2</sup>聖心女子大学

SY56-5

**神経発達症と概日リズム障害**

○高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

〈メインコーディネーター〉 小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

〈サブコーディネーター〉 辻井 農亜

富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

**6月19日(木) ポスター会場(神戸国際展示場 1号館 1F 展示室)**

13:30～14:20 **一般演題 (ポスター) 1**  
**医学教育・心理教育**

司会：岡田 元宏 三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座精神神経科学分野

1-P1-1

**医学生・看護学生の共感性変化に関する縦断研究**

○斉藤 拓、脇 文子、長峯 正典

防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門

1-P1-2

**\* 専攻医の精神鑑定試験について ー鑑定助手としての役割、実績**

○脇上 菜々子<sup>1</sup>、吉濱 淳<sup>1</sup>、松田 ひろし<sup>1</sup>、片山 成仁<sup>2</sup>

<sup>1</sup>柏崎厚生病院、<sup>2</sup>医療法人社団成仁医院

1-P1-3

**公認心理師養成課程における精神医学教育の実践例**

○中野 倫仁<sup>1,2</sup>、本谷 亮<sup>2</sup>、百々 尚美<sup>2</sup>、河田 祐輔<sup>1</sup>、浦田 昇龍<sup>1</sup>、芦澤 健<sup>1</sup>、佐藤 正俊<sup>1</sup>

<sup>1</sup>資生会千歳病院、<sup>2</sup>北海道医療大学心理科学部

1-P1-4

**心理的安定化トレーニングワークブック日本語版の作成**

○増田 史<sup>1</sup>、宮口 凜<sup>2</sup>、尾関 祐二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>滋賀医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>滋賀医科大学医学部医学科

1-P1-5

**\* ウェアラブルデバイスを用いた生活指導が自己管理に有効だった急性一過性精神病性障害の一例**

○山本 泰雅、遠藤 徳人、磯部 琴絵、貝沼 晃成、中村 知、峯田 健司、池上 美和、細田 益宏、  
中野谷 貴子

東京都立広尾病院

13:30～14:00 一般演題（ポスター）2  
ニューロモデュレーション

司会：青木 宣篤 関西医科大学医学部精神神経科学講座

- 1-P2-1 日本の保険診療における治療抵抗性うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の有用性に関する多施設観察研究  
○松田 勇紀<sup>1,2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>2</sup>、伊津野 拓司<sup>3</sup>、中村 元昭<sup>4</sup>、高橋 隼<sup>5</sup>、竹林 実<sup>6</sup>、三村 将<sup>7</sup>、野田 賀大<sup>7,8</sup>  
<sup>1</sup>藤田医科大学医学部臨床研究・開発教育学、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>3</sup>神奈川県立精神医療センター、  
<sup>4</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所、<sup>5</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、  
<sup>6</sup>熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座、<sup>7</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、  
<sup>8</sup>国際医療福祉大学三田病院精神科
- 1-P2-2 修正型電気痙攣療法の実施頻度と改善率および刺激用量  
○薄田 芳裕<sup>1,2</sup>、坪谷 隆介<sup>1</sup>、恩田 啓伍<sup>1</sup>、渡部 雄一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>魚沼基幹病院精神科、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院精神科
- 1-P2-3 単科精神科病院である肥前精神医療センターにおける治療抵抗性うつ病に対する Neuromodulation 治療の可能性  
○西村 淳、橋本 学、松崎 公信、戸敷 和浩、新保 裕希、辻 真里子、岩永 英之、上野 雄文  
肥前精神医療センター

13:30～14:20 初期研修医・学部学生演題（ポスター）1

司会：石川 一朗 香川大学医学部精神神経医学講座

- 1-SP1-1 安定した強迫症の経過中に錯乱状態を呈し、レボフロキサシン脳症と診断された1例  
○三好 凜、石田 琢人、稲熊 徳也、水野 雅文  
東京都立松沢病院
- 1-SP1-2 非特異的な症状を示し、診断に難渋した遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病の一例  
○奥田 直見、林 健太郎、松村 謙、水野 雅文  
東京都立松沢病院
- 1-SP1-3 孤独感が将来の absenteeism・presenteeism に与える影響  
○渡辺 みどり<sup>1</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、陳 冲<sup>1</sup>、大久保 亮<sup>3</sup>、中川 伸<sup>2</sup>、田淵 貴大<sup>4,5</sup>  
<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、<sup>3</sup>北海道大学病院精神科神経科、  
<sup>4</sup>大阪国際がんセンター、<sup>5</sup>東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野
- 1-SP1-4 セクシュアルマイノリティの患者が過ごしやすい医療現場を目指して  
○村重 百合子、松原 敏郎、中川 伸  
山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座（精神科神経科）
- 1-SP1-5 健常者脳における機能的結合と性格特徴の関連  
○河本 理伽<sup>1</sup>、川崎 康弘<sup>1</sup>、栗田 結子<sup>1</sup>、加藤 朝貴<sup>1</sup>、妹尾 貴紀<sup>1</sup>、大畑 郁乃<sup>1</sup>、小出 蓉子<sup>1</sup>、片岡 譲<sup>2</sup>、  
嶋田 貴充<sup>3</sup>、長澤 達也<sup>1</sup>、上原 隆<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢医科大学精神神経科学、<sup>2</sup>ゆずメンタルクリニック、<sup>3</sup>岡部病院



14:30～15:20 一般演題（ポスター）3  
精神科合併症・リエゾン1

司会：根本 清貴 筑波大学医学医療系精神医学

- 1-P3-1 精神科病床のない総合病院における精神科及び産科の連携－聖路加国際病院における初年度の活動報告－  
○大内 衆衛  
聖路加国際病院
- 1-P3-2 \*精神疾患における妊娠前後の薬物療法の変化に関する診療録調査  
○小林 珠代<sup>1</sup>、小高 文聰<sup>1</sup>、石井 洵平<sup>1</sup>、森 啓輔<sup>1</sup>、酒井 祥行<sup>1</sup>、松澤 友斗<sup>1</sup>、上山 泰山<sup>2</sup>、伊藤 由紀<sup>2</sup>、高橋 健<sup>2</sup>、松井 仁志<sup>2</sup>、末光 徳匡<sup>2</sup>、大久保 春菜<sup>2</sup>、鶴岡 佑斗<sup>2</sup>、増田 怜良<sup>2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>1</sup>、佐村 修<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学産婦人科学講座
- 1-P3-3 統合失調スペクトラム症の妊娠中の喫煙行動に影響を与える要因の検討  
○藏満 彩結実、大井 一高  
岐阜大学医学部附属病院
- 1-P3-4 せん妄に対するブロナンセリン経皮吸収型製剤の使用状況調査  
○菅野 博志、小高 文聰、石井 洵平、森 啓輔、酒井 祥行、小林 珠代、松澤 友斗、館野 歩、鬼頭 伸輔  
東京慈恵会医科大学附属病院
- 1-P3-5 総合病院における職業別医療スタッフのせん妄に関する知識とオンデマンドeラーニングの効果  
○山形 弘隆<sup>1,2,3</sup>、小林 理恵子<sup>2</sup>、廣瀬 憲一<sup>3</sup>、關 友恵<sup>4</sup>、滝原 崇久<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団天紀会こころのホスピタル町田、<sup>2</sup>社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院、<sup>3</sup>医療法人社団守成会広瀬病院、<sup>4</sup>医療法人社団プラタナス青葉アーバンクリニック

14:30～15:10 一般演題（ポスター）4  
コロナとその他

司会：大溪 俊幸 千葉大学総合安全衛生管理機構

- 1-P4-1 大学病院職員におけるCOVID-19流行を通じての心理的影響調査（第3回）  
○井出 恵子<sup>1,2</sup>、野本 宗孝<sup>2</sup>、菱本 明豊<sup>3</sup>、浅見 剛<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学附属病院、<sup>2</sup>横浜市立大学医学部精神医学教室、<sup>3</sup>神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
- 1-P4-2 コロナ前・禍における中学生の心身の健康及び生活習慣の比較  
○井上 顕<sup>1</sup>、嘉村 正徳<sup>2</sup>、竹下 治男<sup>3</sup>、稲垣 卓司<sup>4</sup>、藤田 委由<sup>3,5</sup>  
<sup>1</sup>高知大学教育研究部医療学系保健管理センター、<sup>2</sup>嘉村医院、<sup>3</sup>島根大学医学部法医学講座、<sup>4</sup>島根大学医学部看護学科、<sup>5</sup>島根大学医学部
- 1-P4-3 コロナ禍における地域在住の高齢者の唾液オキシトシンと不安の関連  
○國武 裕<sup>1</sup>、今村 義臣<sup>1</sup>、國武 浩子<sup>1</sup>、大石 絢子<sup>1</sup>、立石 洋<sup>1</sup>、松島 淳<sup>1</sup>、村川 徹<sup>1,2</sup>、小嶋 亮平<sup>1</sup>、白石 匠<sup>1</sup>、溝口 義人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院、<sup>2</sup>医療法人浄心会園田病院
- 1-P4-4 精神科医における栄養指導積極的介入に関する意識調査  
○下村 裕見子<sup>1</sup>、大石 智<sup>2</sup>、赤穂 理絵<sup>3</sup>、横尾 英孝<sup>4</sup>、大西 俊一郎<sup>5</sup>、稲田 健<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科臨床医科学群精神科学、<sup>2</sup>北里大学医学部精神科学、<sup>3</sup>東京女子医科大学医学部神経精神科学、<sup>4</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医歯学教育開発センター、<sup>5</sup>国際医療福祉大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科

14:30～15:20 初期研修医・学部学生演題（ポスター）2

司会：大舘 孝治 島根大学医学部精神医学講座

1-SP2-1 孤独感とうつ症状の媒介因子の探索

○石村 昌嵩<sup>1</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、渡辺 みどり<sup>1</sup>、久我 俊介<sup>1</sup>、朝位 久美<sup>2</sup>、丸山 郁子<sup>2</sup>、陳 冲<sup>2</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

1-SP2-2 ランダムノイズを活用した脳波データの拡張による機械学習を用いたうつ病診断精度の向上

○庄司 桃太郎<sup>1</sup>、岸本 泰士郎<sup>2</sup>、中井 文哉<sup>2</sup>、石川 祐希<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座（信濃町）、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

1-SP2-3 ベンゾジアゼピン系薬剤投与患者に対するフルマゼニルの使用実態

○五十嵐 海斗、石田 琢人、小林 憲司、寺島 凜太郎、大木 絵美梨、水野 雅文  
東京都立松沢病院

1-SP2-4 イギリスの医療現場におけるマインドフルネスの発展

○伊藤 正浩  
海陽中等教育学校

1-SP2-5 マインドフルネスがポジティブな体験による気分向上効果に与える影響とその機序

○久我 俊介<sup>1</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、渡辺 みどり<sup>1</sup>、石村 昌嵩<sup>1</sup>、朝位 久美<sup>2</sup>、丸山 郁子<sup>2</sup>、陳 冲<sup>2</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

15:45～16:45 一般演題（ポスター）5  
薬物療法

司会：加藤 正樹 関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座

1-P5-1 コロナ禍における日本の若年層に対する向精神病薬の処方動向

○石塚 佳奈子  
名古屋工業大学

1-P5-2 遅発性ジスキネジア（TD）患者を対象としたバルベナジンの特定使用成績調査〔AKARI〕の中間報告

○尾関 祐二<sup>1</sup>、元 圭史<sup>2</sup>、向井 洋平<sup>3</sup>、長野 美恵子<sup>4</sup>、渡邊 裕美<sup>4</sup>、橋本 孝史<sup>4</sup>、岩武 敦司<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>滋賀医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>医療法人大和会西毛病院、<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、  
<sup>4</sup>田辺三菱製薬株式会社開発・メディカル本部、<sup>5</sup>田辺三菱製薬株式会社QV本部

1-P5-3 せん妄患者におけるレンボレキサント服用下での転倒リスク因子調査

○野田 花子<sup>1</sup>、寺山 義泰<sup>1,2</sup>、城田 幹生<sup>3</sup>、安 武夫<sup>1,2,4</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立墨東病院、<sup>2</sup>墨東病院－明治薬科大学連携研究センター、  
<sup>3</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院、<sup>4</sup>明治薬科大学臨床薬学部門治療評価学

1-P5-4 ＊入院を要した難治性強迫症患者に対するレボメプロマジン付加療法の効果と忍容性の後方視的調査

○横角 えりさ、向井 馨一郎、林田 和久、萩野 俊、細井 幸彦、櫻井 正彦、飯島 華怜、  
松永 寿人  
兵庫医科大学病院

1-P5-5 エシタロプラムによる妄想性障害・身体型の治療成功例：症例報告および文献レビュー

○水野 祐之介<sup>1</sup>、白田 稔則<sup>1</sup>、菅井 康大<sup>2</sup>、小林 良太<sup>1</sup>、能登 契介<sup>1</sup>、齋藤 裕介<sup>1</sup>、鈴木 昭仁<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学医学部精神科学教室、<sup>2</sup>山形大学医学部放射線医学教室



1-P5-6

### 統合失調症患者における paliperidone palmitate 3ヶ月製剤の受け入れ意向に関する調査

○藤井 健太郎<sup>1</sup>、細川 琴実<sup>2</sup>、鈴木 洋久<sup>1</sup>、笠井 隆央<sup>1</sup>、廣瀬 俊輔<sup>1</sup>、下野 純<sup>1</sup>、二井 はるな<sup>1</sup>、  
秋庭 愛<sup>1</sup>、本郷 裕一朗<sup>1</sup>、大橋 尊<sup>1</sup>、中村 暖<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>昭和医科大学薬学部病院薬学講座

15:45~16:35

## 一般演題（ポスター）6

### 依存症

司会：下田 和孝 地方独立行政法人栃木県立岡本台病院

1-P6-1

### \*睡眠薬依存症患者において入院加療下での睡眠薬の置換減量および動機づけ面接を行った1例

○石井 智久、村上 優、佐久間 寛之

国立病院機構さいがた医療センター

1-P6-2

### シアナマイドにて社会復帰することができたアルコール依存症の2症例

○萩倉 祥一、佐藤 明信、佐藤 寛一

医療法人和合会和合病院

1-P6-3

### 豊田西病院におけるアルコール外来開設と現状

○萩倉 美奈子、鈴木 幸恵、嶋 宏昭、西垣 誠、園田 学、新藤 琢生、坪井 重博

豊田西病院

1-P6-4

### 栃木県立岡本台病院におけるアルコール依存症外来治療の継続要因に関する研究

○三浦 佑和<sup>1</sup>、田尻 智哉<sup>1</sup>、市川 貴一<sup>2</sup>、織田 裕美子<sup>3</sup>、天野 託<sup>1</sup>、増井 晃<sup>4</sup>、下田 和孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院、<sup>3</sup>栃木県立がんセンター、<sup>4</sup>滋賀県立精神医療センター

1-P6-5

### 昭和大学附属烏山病院におけるギャンブル障害入院患者の予後調査

○常岡 俊昭<sup>1,2</sup>、山田 真理<sup>1,2</sup>、片岡 悠哉<sup>1,2</sup>、西田 歩美<sup>1</sup>、奥津 奏<sup>1</sup>、徳永 舞子<sup>1</sup>、大久保 いくえ<sup>1</sup>、  
菅野 美和<sup>1</sup>、宮本 一磨<sup>1</sup>、塚越 拓美<sup>1</sup>、森 千里<sup>1</sup>、堀内 健太郎<sup>1,2</sup>、石山 瑞穂<sup>1</sup>、佐野 悠<sup>1</sup>、古屋 宏章<sup>1</sup>、  
伊宝田 さとみ<sup>1</sup>、真田 建史<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学附属烏山病院、<sup>2</sup>昭和医科大学医学部精神医学教室

15:45~16:35

## 初期研修医・学部学生演題（ポスター）3

司会：岡久 祐子 岡山大学病院精神科神経科

1-SP3-1

### クロザピン使用中に腸管気腫症をきたしたが、内科治療のもとクロザピンを継続しえた一例

○寺島 凜太郎、石田 琢人、稲熊 徳也、水野 雅文

東京都立松沢病院

1-SP3-2

### 精神科病院における異食インシデントの発生状況および背景に関する検討

○大島 拓也、和氣 仁美、石田 琢人、田波 秀朗、水野 雅文

東京都立松沢病院

1-SP3-3

### 重度精神疾患をもつ局所進行直腸癌患者2例の治療経験

○小野 航介、和氣 仁美、田波 秀朗、石田 琢人、稲見 茉莉、稲熊 徳也、田口 春菜、島田 恵、  
水野 雅文

東京都立松沢病院

- 1-SP3-4 リエゾン・コンサルテーションにおける依頼元診療科の見立てと精神科による診断との診断一致率に関する調査  
○徳田 宗一郎<sup>1</sup>、石橋 竜太郎<sup>2</sup>、柏木 智則<sup>2</sup>、昌川 安希子<sup>2</sup>、野呂 孝徳<sup>2</sup>、石田 智隆<sup>2</sup>、河西 千秋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>市立釧路総合病院、<sup>2</sup>札幌医科大学医学部神経精神医学講座
- 1-SP3-5 ベンゾジアゼピンチャレンジテストへの反応性と緊張病の背景因子との関係性：予備的調査  
○森信 瞳子、石田 琢人、小林 憲司、水野 雅文  
東京都立松沢病院

16:45～17:45 一般演題（ポスター）7  
精神科救急

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

- 1-P7-1 二次救急病院搬送後に精神科治療に繋がった主訴が身体症状のうつ病患者の一例  
○片上 奈央、片上 哲也  
片上メンタルクリニック
- 1-P7-2 精神科救急病棟の病棟構造が隔離・身体拘束に与える影響  
○廣岡 孝陽<sup>1</sup>、大石 智<sup>1</sup>、三浦 祥子<sup>1,2</sup>、稲田 健<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北里大学医学部精神科学、<sup>2</sup>北里大学健康管理センター
- 1-P7-3 当院救急外来における自殺ハイリスク患者の実態調査  
○深津 孝英、宮本 泰彰、櫻井 麻里、藤田 貢平、吉田 太朗、吉本 隆明、河合 三穂子、宮田 淳  
愛知医科大学
- 1-P7-4 精神保健福祉法第23条に基づく警察官通報の現状把握に関する研究（その1）通報・事前調査について  
○瀬戸 秀文<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、稲垣 中<sup>3</sup>、島田 達洋<sup>4</sup>、太田 順一郎<sup>5</sup>、大塚 達以<sup>6</sup>、小口 芳世<sup>7</sup>、  
椎名 明大<sup>8</sup>、中西 清晃<sup>2</sup>、小池 純子<sup>2</sup>、中村 仁<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>福岡県立精神医療センター太宰府病院、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>青山学院大学、  
<sup>4</sup>栃木県精神保健福祉センター、<sup>5</sup>岡山市こころの健康センター、<sup>6</sup>宮城県立精神医療センター、  
<sup>7</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、<sup>8</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、<sup>9</sup>長崎県精神医療センター
- 1-P7-5 精神保健福祉法第23条に基づく警察官通報の現状把握に関する研究（その2）指定医診察例について  
○瀬戸 秀文<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、稲垣 中<sup>3</sup>、島田 達洋<sup>4</sup>、太田 順一郎<sup>5</sup>、大塚 達以<sup>6</sup>、小口 芳世<sup>7</sup>、  
椎名 明大<sup>8</sup>、中西 清晃<sup>2</sup>、小池 純子<sup>2</sup>、中村 仁<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>福岡県立精神医療センター太宰府病院、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>青山学院大学、  
<sup>4</sup>栃木県精神保健福祉センター、<sup>5</sup>岡山市こころの健康センター、<sup>6</sup>宮城県立精神医療センター、  
<sup>7</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、<sup>8</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、<sup>9</sup>長崎県精神医療センター
- 1-P7-6 配偶者又は交際相手からの暴力の被害者におけるパートナー関係に対する認知と援助希求  
○森田 展彰  
筑波大学



16:45～17:45 一般演題（ポスター）8  
神経科学・AI

司会：吉野 祐太 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-P8-1 高齢者における知的能力と聴覚的理解の関連

○深瀬 裕子<sup>1,2</sup>、河村 晃依<sup>1,2</sup>、秦 若菜<sup>1,2</sup>、市川 勝<sup>1</sup>、上岡 清乃<sup>1,2</sup>、澤田 拓也<sup>1,2</sup>、前場 洋佑<sup>1,2</sup>、市倉 加奈子<sup>1,2</sup>、田中 克俊<sup>2</sup>、田ヶ谷 浩邦<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北里大学医療衛生学部、<sup>2</sup>北里大学大学院医療系研究科

1-P8-2 統合失調症患者と健常者を対象とした修正版 Tinker Toy Test の評価者間信頼性の検証

○中村 泰久<sup>1</sup>、宮本 礼子<sup>2</sup>、是木 明宏<sup>3</sup>、穴水 幸子<sup>2,4</sup>、三村 将<sup>3</sup>

<sup>1</sup>日本福祉大学、<sup>2</sup>東京都立大学、<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>4</sup>NHO 栃木医療センター

1-P8-3 クロザリル導入前後における脳波所見の定量的評価

○澤頭 亮、堀之内 徹、石川 修平、豊巻 敦人

北海道大学医学研究院精神医学教室

1-P8-4 教育と認知に関する遺伝的素因が現在の食事摂取に及ぼす影響

○藤兼 大輔<sup>1</sup>、大井 一高<sup>1,2</sup>、西澤 大輔<sup>2,3</sup>、長谷川 準子<sup>2</sup>、佐藤 直美<sup>4,5</sup>、谷岡 書彦<sup>6</sup>、梶村 春彦<sup>7</sup>、池田 和隆<sup>2,3</sup>、塩入 俊樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岐阜大学大学院医学系研究科、<sup>2</sup>東京都医学総合研究所依存性物質プロジェクト、

<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>4</sup>浜松医科大学臨床看護学講座、<sup>5</sup>浜松医科大学腫瘍病理学講座、

<sup>6</sup>磐田市立総合病院病理診断科、<sup>7</sup>佐々木研究所

1-P8-5 自記式質問紙を用いた抗精神病薬関連遅発性ジスキネジアの機械学習予測モデルの開発

○林 将人

布袋病院

1-P8-6 うつ病治療最適化ツールを用いた診療モデルへの課題：医師対象のユーザビリティ調査より

○菊地 俊暁<sup>1</sup>、清水 恒三朗<sup>1</sup>、原 祐子<sup>1</sup>、小林 由季<sup>1</sup>、中島 振一郎<sup>1</sup>、藤澤 大介<sup>1,2</sup>、腰 みさき<sup>1</sup>、近藤 裕美子<sup>1</sup>、田島 美幸<sup>1</sup>、田村 法子<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>2</sup>慶應義塾大学病院医療安全管理部、

<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター

16:45～17:45 初期研修医・学部学生演題（ポスター）4

司会：越智 紳一郎 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-SP4-1 坂本龍馬記念館における発達障害をもつ人のアクセシビリティ向上にむけた感覚に優しい取組

○野田 あいみ<sup>1</sup>、高橋 秀俊<sup>2</sup>、小松 静香<sup>2</sup>、大原 伸騎<sup>3</sup>、大内 雅子<sup>1</sup>、柴田 美嶺<sup>1</sup>、亀井 楓乃<sup>1</sup>、玉田 志織<sup>1</sup>

<sup>1</sup>高知大学医学部医学科、<sup>2</sup>高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学、<sup>3</sup>高知大学医学部神経精神科学教室

1-SP4-2 アンパンマンミュージアムにおける発達障害をもつ人のアクセシビリティ向上にむけた感覚に優しい取組

○亀井 楓乃<sup>1</sup>、高橋 秀俊<sup>2</sup>、小松 静香<sup>2</sup>、大原 伸騎<sup>3</sup>、大内 雅子<sup>1</sup>、柴田 美嶺<sup>1</sup>、野田 あいみ<sup>1</sup>、玉田 志織<sup>1</sup>

<sup>1</sup>高知大学医学部医学科、<sup>2</sup>高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学、<sup>3</sup>高知大学医学部神経精神科学教室

1-SP4-3 知的障害を持つ女性の妊娠における問題と支援体制の課題：予期せぬ妊娠が発覚した一症例からの検討

○廣瀬 麻衣<sup>1</sup>、岩城 弘隆<sup>2</sup>、高橋 聡太<sup>3</sup>

<sup>1</sup>むつ総合病院、<sup>2</sup>道央佐藤病院、<sup>3</sup>八戸市民病院

1-SP4-4

**無床精神科総合病院における急性薬物中毒患者についての検討**

○渡辺 博之<sup>1</sup>、岩永 健<sup>2</sup>、早川 航一<sup>1</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>長崎みなとメディカルセンター、<sup>2</sup>長崎大学医学部精神神経学教室

1-SP4-5

**北見赤十字病院の一般救急医療部門に搬送された自殺企図患者の調査**

○石川 友香<sup>1</sup>、嶋田 進一郎<sup>1</sup>、加藤 紘幹<sup>1</sup>、古俣 皓涼<sup>1</sup>、石橋 竜太郎<sup>2</sup>、河西 千秋<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北見赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup>札幌医科大学医学部神経精神医学講座

1-SP4-6

**精神科志望初期臨床研修医による措置診察陪席研修の、より効率的で体系化された学習方法の試み**

○河野 駿、石田 琢人、今井 淳司、水野 雅文、五十嵐 海斗、大島 拓也、奥田 直見、小野 航介、  
寺島 凜太郎、三好 凜、森信 瞳子

東京都立松沢病院